



# 災害・避難カード (記入したら、コピーするか各自が携帯電話で撮影して保存)

## 集合場所

災害別	一時避難場所(集合場所)	避難先 (第一候補)	避難先 (第二候補)
洪水			
土砂災害			
地震			
火山災害			
家族が離散しているときの集合場所			

## 家族の連絡先等

氏名	血液型	電話番号(携帯・会社・学校)	メールアドレス	メモ

※被災地外の親類・友人も記入しておきましょう。

## 家族と連絡をとる方法を確認しよう

地震などの大規模な災害が起きたときには、多くの人が連絡を取り合おうとするため、電話がつながりにくい状況になります。そのような状況でも連絡を取り合えるよう、複数の連絡方法を決めておきましょう。

●災害用伝言ダイヤル「171」 **安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます**

**利用方法**

171 にダイヤルガイダンスが流れる → **録音の場合 1** → 市外局番から電話番号を入力  
被災地の方は自宅の電話番号を  
被災地以外の方は被災地の方の電話番号を  
(☎☎☎☎) ☎☎-☎☎☎☎

→ **再生の場合 2**

●災害用伝言板 **携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます**

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

KDDI: au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク・ワイモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>

●被災地外の親類や友人に連絡の中継をしてもらおう

被災地の中同士では電話がつながりにくい状況でも、被災地から外に向けての連絡は比較的つながりやすい場合があります。  
遠くに住む親類や友人を連絡先としてあらかじめ決めておき、いざという時に中継してもらう方法も有効です。

## 持ち出し品のチェック

### 非常持ち出し袋 (一次持ち出し品)

#### 【飲料水・食料・避難用具】

- |   |   |  |  |                                    |
|---|---|--|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水                          | <input type="checkbox"/> 食料(飴、チョコレートなど) | <input type="checkbox"/> 懐中電灯(LEDランタン)   | <input type="checkbox"/> 乾電池           | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> 靴                            | <input type="checkbox"/> 軍手             | <input type="checkbox"/> 筆記用具・ノート        | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ         | <input type="checkbox"/> 下着、生理用品   |
| <input type="checkbox"/> 雨具                           | <input type="checkbox"/> タオル            | <input type="checkbox"/> 毛布または寝袋         | <input type="checkbox"/> 貴重品(現金、保険証など) |                                    |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・トイレトペーパー・ウェットティッシュ |   | <input type="checkbox"/> 予備のメガネ、コンタクトレンズ |  |                                    |

#### 【感染症対策・救急医薬品】

- |                              |                              |                              |  |                                   |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 体温計 | <input type="checkbox"/> 消毒液 | <input type="checkbox"/> ばんそうこう・ガーゼ・包帯 | <input type="checkbox"/> 常備薬、お薬手帳 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--|-----------------------------------|

#### 【その他家庭で必要なもの】

- |                          |                          |                          |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|

# 改訂 保存版

## 二本松市 総合ハザードマップ



### こちらと一緒に確認しよう!



福島県作成  
ふくしまマイ避難ノート

### 福島県作成 ふくしまマイ避難ノート

避難に必要な情報が、イラストを交えてわかりやすくまとめられているよ!



福島県ウェブサイト  
マイ避難ノートは  
県のウェブサイトからも確認できるんだね



二本松市ウェブサイト  
このハザードマップは  
市のウェブサイトでもチェックできるよ



2023年3月  
二本松市

1 はじめに  
災害に備えて

2 令和元年台風第19号  
災害

3 風水害編

4 とるべき行動  
情報の取得

5 風水害編 洪水

河川の氾濫  
浸水想定区域図

6 風水害編 土砂災害

土砂災害の種類など

7 ハザードマップの使い方

索引図  
ハザードマップの見方

8 避難場所・避難所

避難場所・避難所一覧表

9 ハザードマップ

?

46

47 地震災害編

考えられる被害など

48 地震災害編

地震発生時の行動など

49 地震災害編

ため池ハザードマップ

52

53 火山災害編

噴火警戒レベルが  
1~3の場合

54 火山災害編

噴火警戒レベルが  
4~5の場合

裏表紙

災害・避難カード  
集合場所、連絡先など

学習編

風水害編

ハザードマップ

地震災害編

火山災害編

学習編



二本松市は、西部に安達太良山、東部に阿武隈山地が連なり、市の中央を阿武隈川が流れる豊かな自然に加え、大河沿いの地の利を活かし、古くから文化が栄えてきました。一方、豊かな自然は時として災害をもたらすこともあります。

近年、全国各地で発生している地震災害や豪雨災害、火山災害などは、本市でも発生する可能性があります。しかし、正しい情報と的確な行動を取ることで被害を最小限にとどめることが可能になります。

この総合ハザードマップを使って、ご家庭や地域で災害時に取るべき行動を考え、災害に強い地域づくりにお役立て下さい。

## 災害に備えて

いざというときにあわてず適切な行動をとるため、地震や風水害などの災害が起こる前からの準備が重要となります。日頃から災害への備えや災害時の行動について、家族や地域で話し合っておきましょう。

### 家族で話し合おう

#### ステップ ① 自宅の位置や避難場所を確認しましょう。

国道や県道の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅の位置や避難場所を確認しましょう。



#### ステップ ④ 実際に避難経路を歩いてみて、安全が確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、考えられる避難経路を歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



#### ステップ ② 地震や大雨のときに危険になる場所を確認しましょう。

古い家屋やブロック塀など地震のときに危険となる場所、自宅周辺にある水路・橋や土砂災害警戒区域など大雨のときに危険となる場所を確認しましょう。



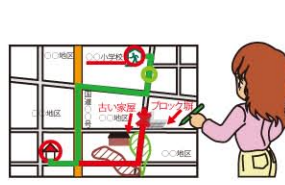
#### ステップ ⑤ 非常持ち出し品を準備しましょう。

裏表紙の「持ち出し品のチェック」を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。



#### ステップ ③ 危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

②で確認した地震や大雨のときに危険となる場所を避けて、避難経路を設定しましょう。



#### ステップ ⑥ わが家の防災メモを記入しましょう。

普段から指定緊急避難場所・指定避難所を確認して、裏表紙にある「災害・避難カード」に記入しましょう。安否確認のために家族や知人、親戚等の連絡先を記入しておきましょう。



### 地域で話し合おう

#### 大切なのは地域のつながり

大規模な災害時には、行政の対応能力を超える被害が予想されます。そのため、近隣の住民による助け合いが不可欠となります。平成7年の阪神・淡路大震災では、実際に救助された人のほとんどが、家族や近隣の方により救出されたといわれています。

いざというときに助け合うためには、日ごろからの声のかけ合い、地域の行事への参加などによる近隣の人々との関係づくりが大切です。



#### ステップ ① 自治会・町内会等で一時避難場所を話し合しましょう。

災害が起こったときに、まず安全を確保するために避難する一時避難場所を、自治会や町内会等で話し合しましょう。



#### ステップ ② 災害時の対応を話し合しましょう。

「自宅周辺の危険箇所」、「避難先」、「避難経路」について、家族やご近所の方と話し合しましょう。家族やご近所でこれらの情報を共有し、いざというときに協力し合うことが重要です。



## 二本松市で発生した過去の災害 【令和元(2019)年 台風第19号】

【令和元(2019)年 台風第19号のあらまし】

令和元(2019)年10月6日3時に南鳥島近海で発生した台風第19号は、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸しました。その後、勢力を維持したまま関東地方を北東へ進み、13日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖に抜けました。

福島県では、前線の影響で10月11日から雨が降り出し、台風の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となりました。降り始めからの総雨量は、福島県の広い範囲で200mm以上の大雨となり、所によっては、10月1か月の平年値の2~3倍の雨が降った地域もありました。市内でも12日の降り始めからの総雨量が、二本松地域で191.5mm、安達地域で170mm、岩代地域・東和地域では246mmを記録しました。

この台風による大雨や暴風によって、洪水や土砂災害による甚大な被害が発生しました。



災害をもたらした気象事例(令和元年10月15日気象庁)の「台風第19号による大雨、防風等」の資料を編集

【台風による被害】

台風第19号の影響により、土砂崩れや阿武隈川、口太川、移川、安達太田川等の流域において多くの浸水被害が発生しました。また、橋の流出などにより、孤立した地域が発生しました。

台風第19号による市内の被害の状況

人的被害	死者	2人
	負傷者	—
住宅被害	全壊	7棟
	半壊	62棟
	一部損壊	218棟
住宅被害のうち	床上浸水	約50棟
	床下浸水	約130棟
その他被害	孤立	2世帯

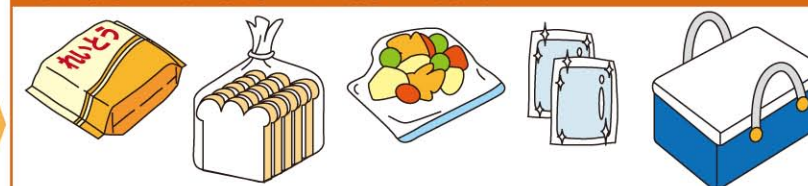
台風第19号による降雨の状況



### 備蓄

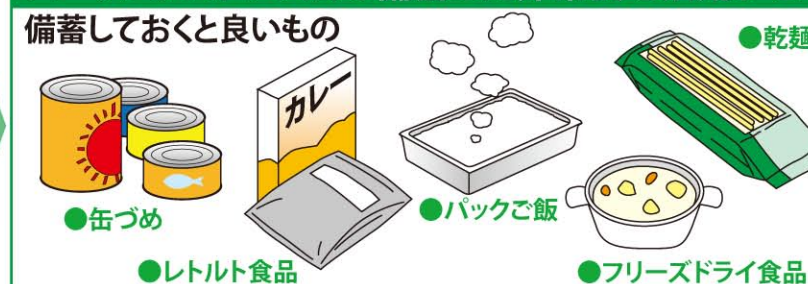
災害時に必要になるものは、家庭の状況によって様々です。家族構成や状況に応じて必要なものを備蓄品に加えましょう。また、冷蔵庫の中の物も立派な備蓄品です。1~3日目までは冷蔵庫の中のものを使い、4~7日目はローリングストック法で備蓄したものを活用するなど、工夫しましょう。

#### 1~3日目 冷蔵庫や冷凍庫の食材を活用する



ご飯や食パン、野菜などを冷凍しておけば自然解凍により食べる事も可能です。停電のときは、クーラーボックスや保冷剤等を利用して食材を保護しましょう。

#### 4~7日目 ローリングストック法で備蓄した非常食を活用する



#### ● 食べながら備えるローリングストック法とは

ローリングストック法は、保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく備蓄方法です。日頃から食べ慣れている賞味期限が1年程度のものを意識的にストックして、月に1、2度食べるときに防災について考えるきっかけにしましょう。



②と③を定期的に繰り返して備蓄を一定に保つ





# 【風水害編】「マイ避難シート」で取るべき行動(マイ・タイムライン)を確認しよう

## マイ避難シート

気象状況	(切迫性 低) 気象状況の悪化		災害発生のおそれあり		洪水・土砂災害の発生危険性が高まる		災害発生 (切迫性 高)	
警戒レベルと避難情報等	警戒レベル1 早期注意情報(気象庁) ※5日先までに警戒級の現象が予想されるときに発表		警戒レベル2 大雨・洪水・注意報(気象庁)		警戒レベル3 高齢者等避難(二本松市)		警戒レベル4 避難指示(二本松市)	
注意すべき警戒レベル相当情報	▼自宅に該当する災害リスクをチェック		警戒レベル2相当		警戒レベル3相当		警戒レベル4相当	
市民の皆さんが取るべき行動	災害への心構えを高める		自らの避難行動を確認する		危険な場所から高齢者等は避難		危険な場所から全員避難	
市民の皆さんに推奨する行動	<input type="checkbox"/> 災害への心構えを高める <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオの天気予報に注意する <input type="checkbox"/> マイ・タイムラインを確認 <input type="checkbox"/> 家族の予定を再確認 <input type="checkbox"/> 屋外の安全確認 <input type="checkbox"/> 備蓄品のチェック <input type="checkbox"/> 避難時の持ち物の準備		<input type="checkbox"/> ハザードマップなどで避難行動を確認 <input type="checkbox"/> 安否確認方法の確認 <input type="checkbox"/> 河川の情報等に注意 <input type="checkbox"/> 危険地域に住む家族・知人へ連絡 <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電		避難に時間を要する方は、避難を開始してください。高齢の方、障がいのある方、乳幼児等とその支援者は避難を開始しましょう。 その他の方もいつでも避難できるよう準備してください。避難準備を整え「防災気象情報」や「河川水位情報」等に注意し、危険な場所にいる方は、早めに避難してください。		避難場所へ速やかに避難してください。対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難してください。 <b>危険な場所から 全員避難完了</b>	
「誰か」・「何を」を 書き出してみよう	例:(父)テレビの天気予報を注意		例:(母)ハザードマップで避難の流れを確認		例:(祖父母)母と車で親戚(〇〇)宅に避難		例:(父私)友人(〇〇)宅に徒歩で避難(20分)	

警戒レベル4までに必ず避難！

『命を守る行動を』

こちらと一緒に確認しよう  
◆市内河川の避難指示等発令に係る基準水位

河川名【管理者】 (基準となる水位観測所)	消防団 待機 水位	氾濫 注意 水位	避難 判断 水位	氾濫 危険 水位
阿武隈川【国】 (二本松水位観測所)	5.5m	6.5m	10.1m	10.4m
油井川【県】 (油井水位観測所)	1.0m	1.4m	1.8m	2.3m
杉田川【県】 (杉田水位観測所)	1.6m	2.35m	2.45m	2.75m
水原川【県】 (松川町水位観測所)	1.5m	2.0m	2.3m	2.65m

どこに避難する？  
浸水するとき / 土砂災害のとき

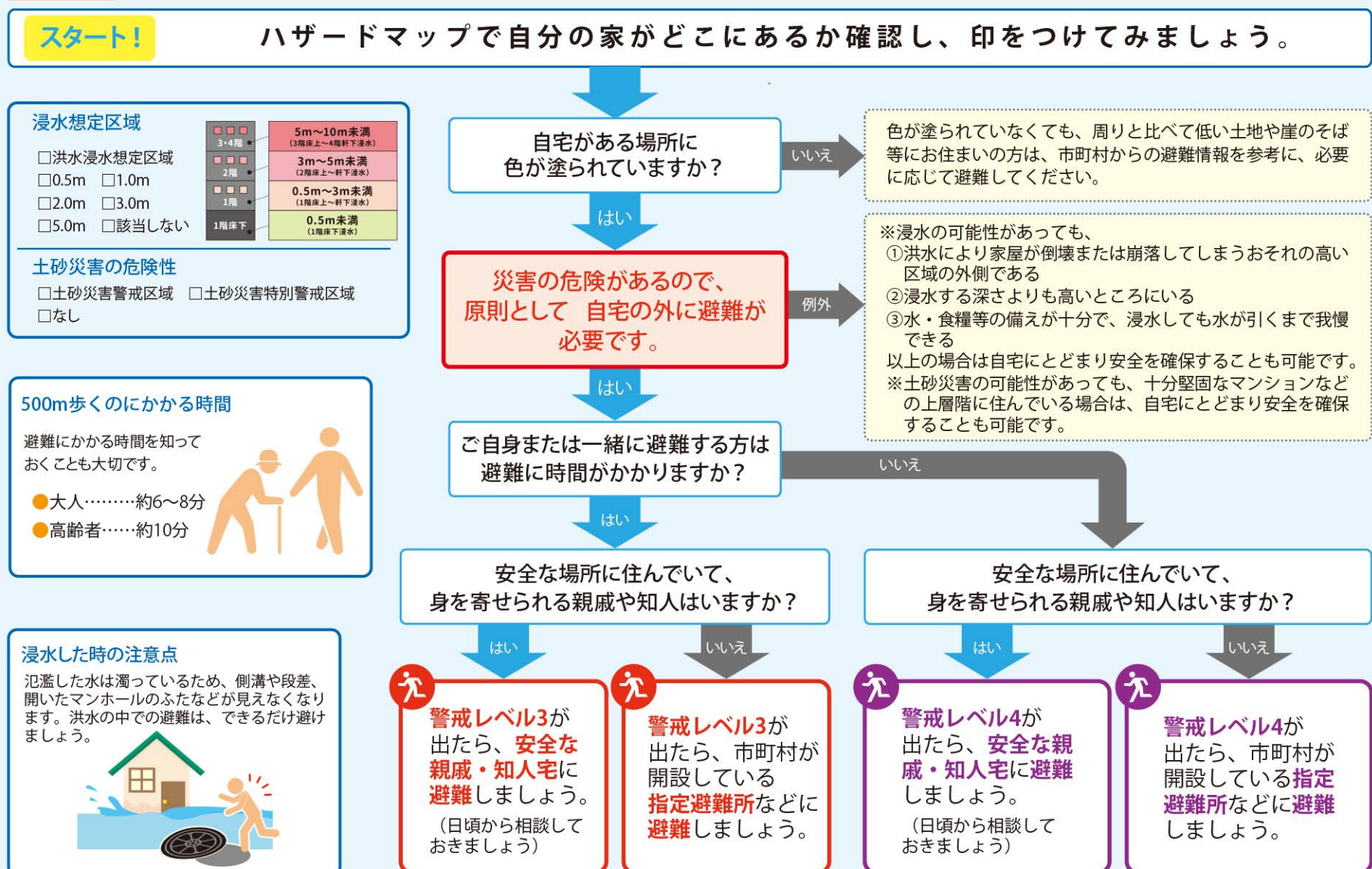
誰に声をかける？誰と逃げる？  
(声をかける人) ※近所の人や別居の家族など

(支援者連絡先) ※手助けが必要な人は支援者を決めましょう

裏表紙にある「災害・避難カード」もあわせて確認しよう

※災害の状況を確認し把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令されるわけではありません。

## あなたが取るべき避難行動は？



## 情報を入手しよう

**防災行政無線 (防災ラジオ・屋外スピーカー)**  
 防災ラジオ・市内に設置した屋外スピーカーから、警戒情報や災害情報、避難に関する情報などをお知らせします。  
 ●過去の配信は <http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/page/dir003441.html>

**テレビ・ラジオ放送**  
 テレビ・ラジオを通じた、防災番組、緊急放送、文字情報での情報提供を行います。  
 ●NHK データ放送  
 テレビのチャンネルを「1」に合わせ、リモコンの「d」ボタンを押すと災害情報を表示できます。

**広報車**  
 災害時に出勤し、拡声器で注意を呼びかけます。  
 避難してください!

**登録制メール「緊急情報メール」**  
 市内で災害などが発生したときに、あらかじめ登録されたメールアドレスに緊急情報をメール配信します。もしもの時の備えとしてぜひ登録しご活用ください。  
 ●緊急情報メール 配信サービスの登録はこちら [https://www.sec-abu.jp/cms/nihonmatsu/mm\\_pro/](https://www.sec-abu.jp/cms/nihonmatsu/mm_pro/)

**緊急速報メール**  
 携帯電話の「エリアメール」・「緊急速報メール」の機能を使って、高齢者等避難、避難指示、警戒区域情報、その他の緊急情報を二本松市内の携帯電話に自動的にお知らせします。情報の受け取り方法については、携帯電話会社のウェブサイト参照ください。

**二本松市防災アプリ**  
 市内で発生した災害などの緊急情報が、通知される他、避難所の開設や混雑情報などが確認できます。  
 ダウンロードページはこちら →  
 iOS (iPhone) Android

**インターネット**  
 各機関のウェブサイトから、市の防災の取り組みや災害情報、防災情報などについて、情報提供を行います。

- 福島地方気象台
- 福島県河川流域総合情報システム
- 川の防災情報ウェブサイト
- 二本松市ウェブサイト
- 二本松市公式ツイッター
- 福島県ウェブサイト





## 大雨が降ると川があふれます

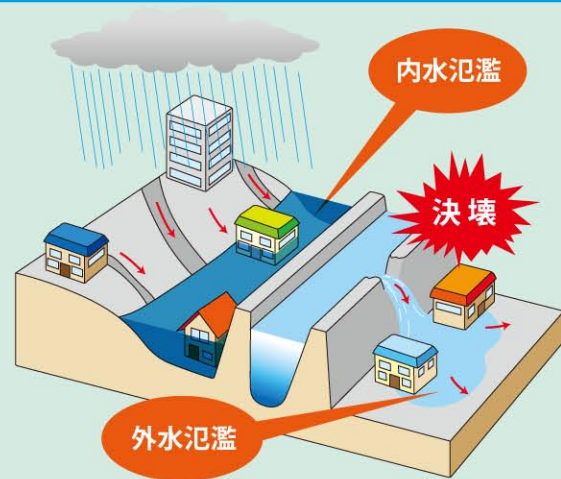
### 川の氾濫（内水氾濫・外水氾濫）

#### 内水氾濫

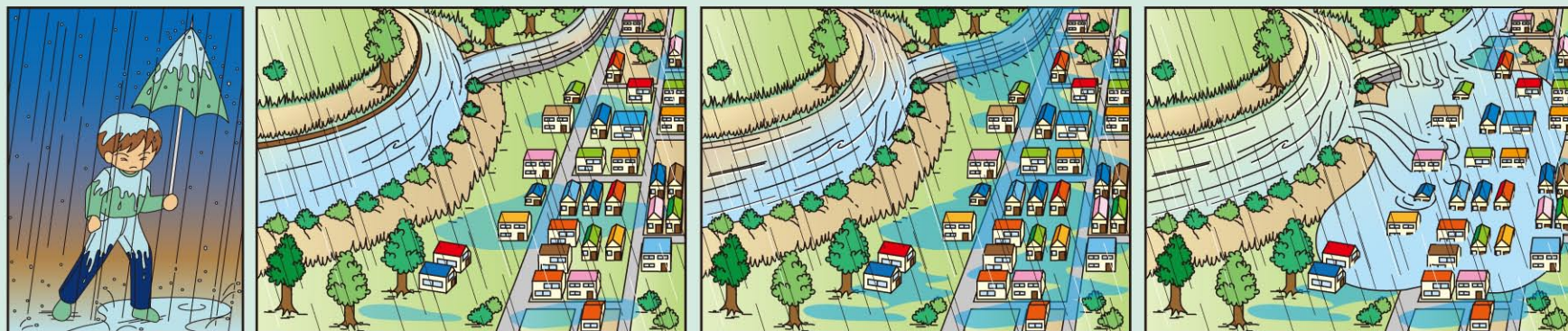
雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなって雨水の排水ができなくなることで発生する浸水を内水氾濫と言います。  
ハザードマップに示されていない場所でも、内水氾濫の可能性あります。

#### 外水氾濫

大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。  
ハザードマップに示した浸水想定区域図は、阿武隈川、油井川、杉田川及び水原川の外水氾濫を想定したものです。



### 内水氾濫の発生 外水氾濫(洪水)の発生



非常に激しい雨が降ると・・・  
雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。  
さらに雨が降り続けると、大きな河川の水位が上昇し、中小河川の排水が難しくなりあふれ出す恐れがあります。  
堤防が決壊すると、大きな被害が発生します。

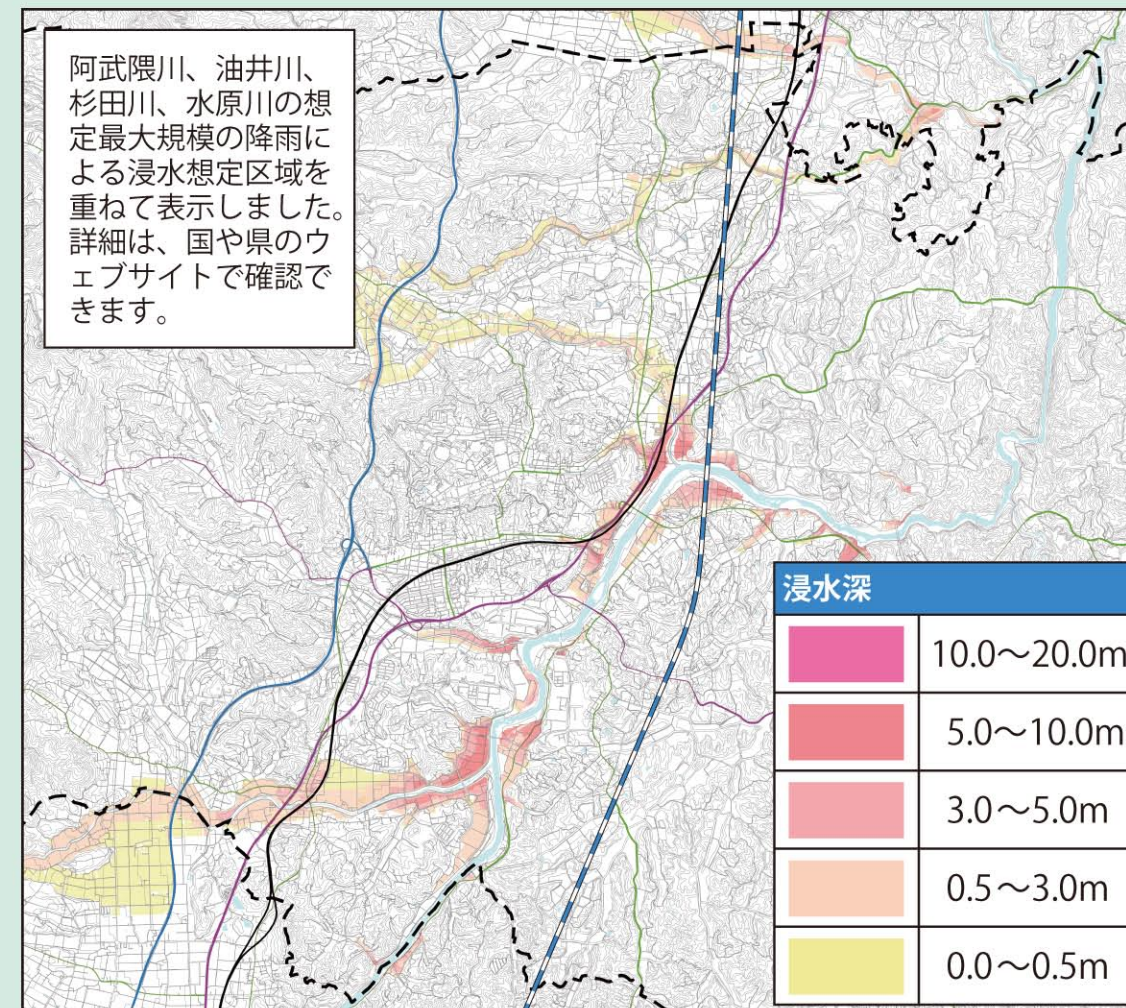
## 浸水想定区域図の想定条件

総合ハザードマップでお示しする「浸水想定区域図」は、水防法の規定により阿武隈川、油井川、杉田川及び水原川が氾濫した場合に想定されるもので、次のような条件で想定を行っています。

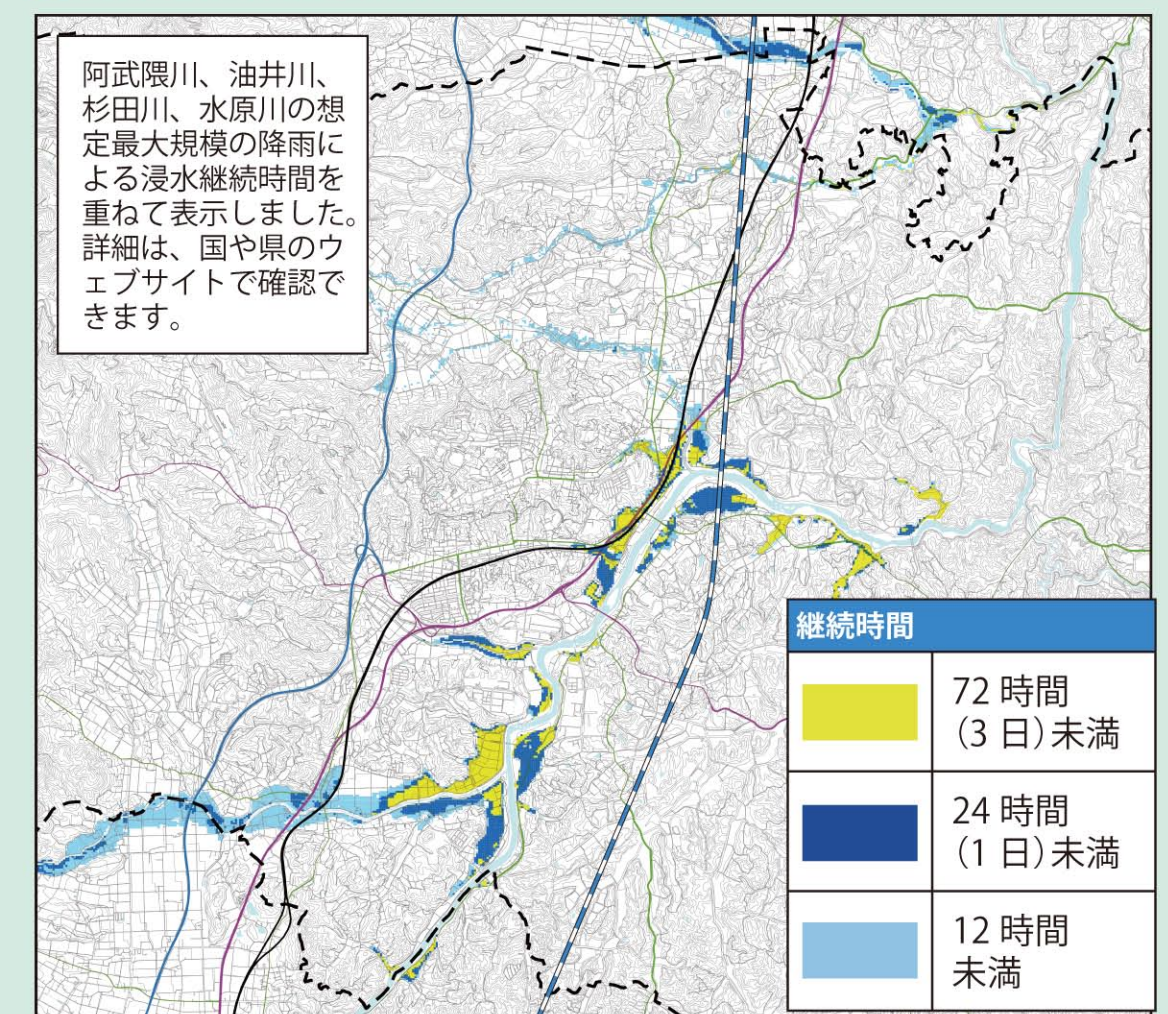
- 阿武隈川：  
前提となる降雨：想定し得る最大規模の降雨（福島流域の2日間の総雨量 323mm）  
作成主体：国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所  
指定年月日：令和2年3月27日
- 油井川：  
前提となる降雨：1/1000年確率\*2（油井川流域の48時間の総雨量 318.8mm）  
作成主体：福島県  
指定年月日：令和3年11月26日
- 杉田川：  
前提となる降雨：1/1000年確率\*2（杉田川流域の2日間の総雨量 319mm）  
作成主体：福島県  
指定年月日：令和3年11月26日
- 水原川：  
前提となる降雨：1/1000年確率\*2（水原川流域の24時間の総雨量 332mm）  
作成主体：福島県  
指定年月日：令和4年10月18日

※このシミュレーションの実施にあたっては、支流の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。  
※2その流域で1年のうちに想定雨量を超える雨量が発生する確率が1/1000を意味する。

## 想定最大規模の降雨による浸水想定区域図



## 想定最大規模の降雨による浸水継続時間

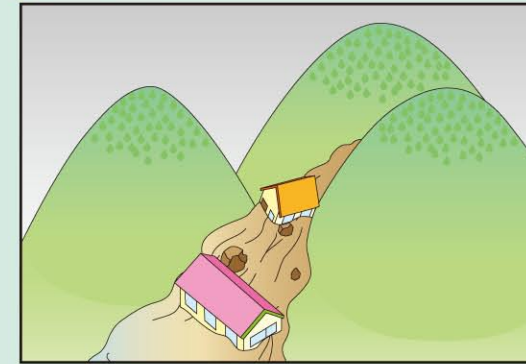


## 土砂災害

### 土砂災害とは

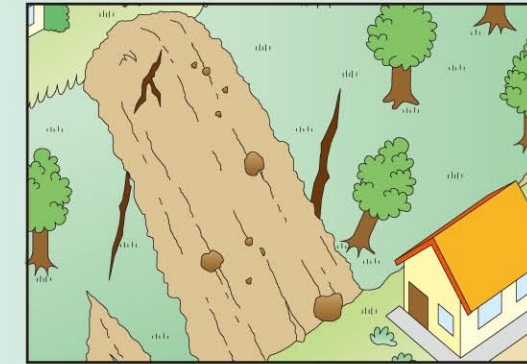
土砂災害は、土石流、がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、地すべりの3種類に分類されています。

#### 土石流



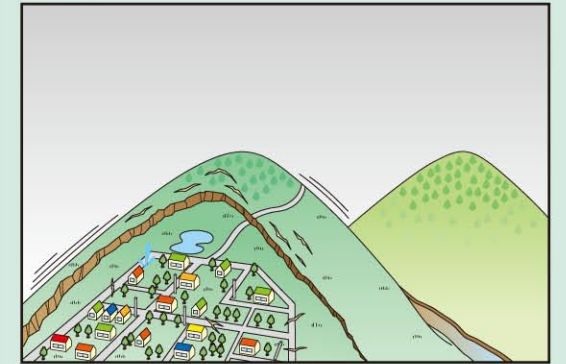
- 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などの影響によって、一気に下流へと押し流される現象です。
- 規模によって異なりますが、時速 20~40km という速度で、破壊力がとても大きいです。

#### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



- 急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響によって、突然崩れ落ちる現象です。
- 突然発生し、かつ崩れるスピードが速いです。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの 2~3 倍も離れた距離まで届くことがあります。

#### 地すべり



- 比較的緩やかな斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へ移動する現象です。
- 斜面の表面部分が崩れ落ちる表層崩壊と、深層の地盤までもが崩れ落ちる深層崩壊があります。
- 大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、被害が大きくなります。

## 自宅の土砂災害への危険度を調べましょう

県は、土砂災害防止法に基づき、避難体制を整備する土地を「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」として指定しています。また、土砂災害の危険がある地区には「土砂災害危険箇所」として、「急傾斜地崩壊危険箇所」を指定しています。この他、山地において土砂災害の危険がある地区は「山腹崩壊危険地区」「崩壊土石流出危険地区」として把握されています。これらの地区は、土砂災害の危険が高いため、雨のときにはこまめに情報を確認し、大雨になったらすぐに避難するなどの対応を決めておきましょう。また、今いる場所が土砂災害の危険があるかを本マップで確認しておきましょう。

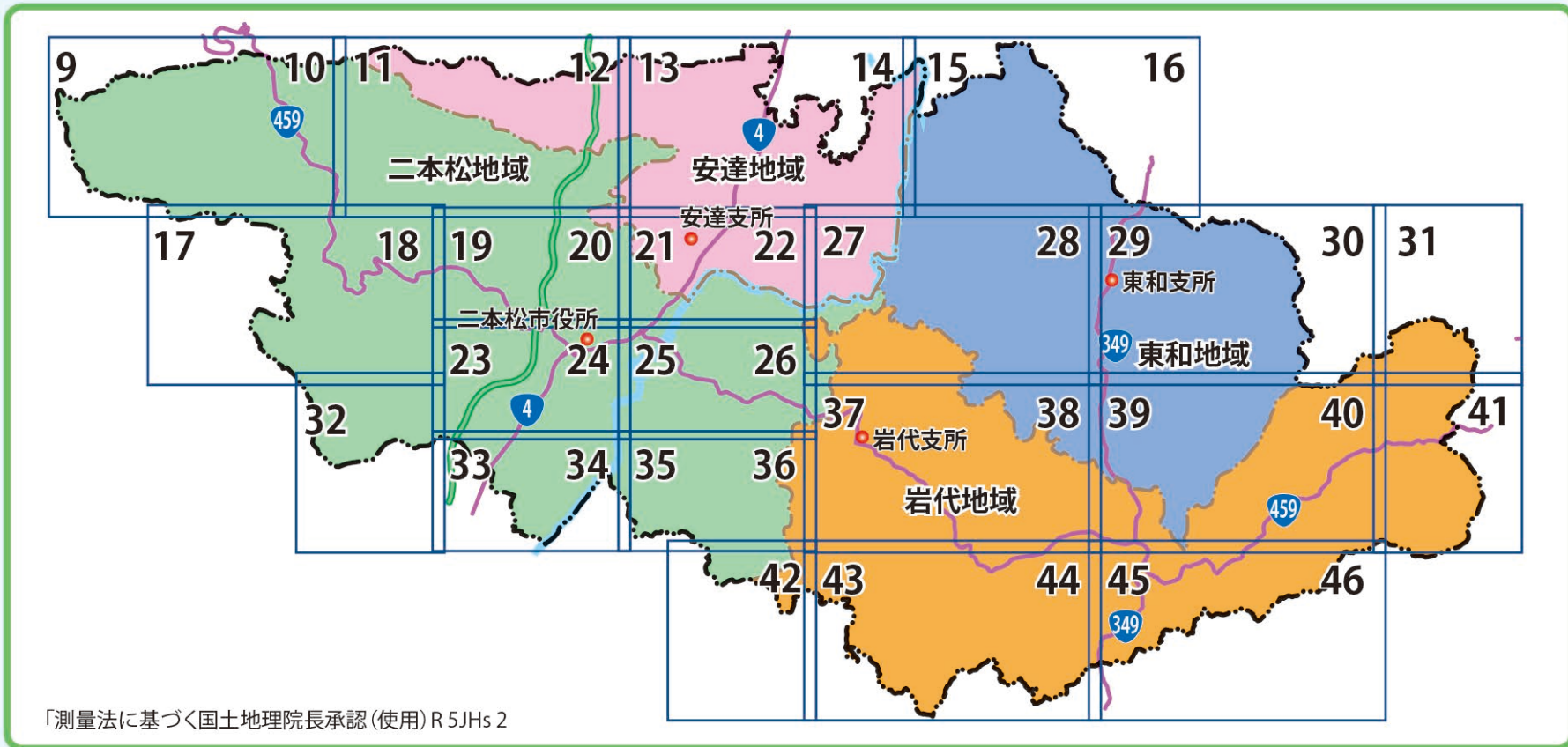
※土砂災害警戒区域等は、住宅などがある地区を指定します。このため、住宅が無い地域では、危険な区域とされていないところでも、土砂災害の可能性あります。道路の通行や避難の際には、「ガケ」に注意しましょう。





## 索引図

このハザードマップは、水防法に基づき指定された阿武隈川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)油井川(1/1000年確率雨量)杉田川(1/1000年確率雨量)及び水原川(1/1000年確率雨量)のデータと土砂災害防止法に基づき指定された土砂災害警戒区域等や土砂災害の危険がある箇所等、災害に留意する箇所と避難場所等を地図上に重ねて示したものです。



## ハザードマップの見方

避難可能な施設は、災害によって異なります。あらかじめ8頁で災害ごとの安全性を確認し、避難先を確認しておいて下さい。

避難施設		対象とする異常な現象			
	指定緊急避難場所 災害から命を守るため、緊急的避難するための屋外施設または場所(グラウンドや駐車場など)です。				
	指定避難所 避難した住民や災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に屋内で滞在する施設です。				
	指定緊急避難場所兼指定避難所 上記2つの役割を兼ねた施設です。	避難施設の名称後ろに、対象とする災害のマークを記載。マークのついていない避難施設は、当該災害に対応していません。災害の規模によっては、マークがついていても避難不可となる場合があります。			
防災関連施設		水防関連施設		基本情報	
	市役所など		雨量観測所		新幹線
	消防署・出張所		水位観測所		鉄道
	警察署・交番・駐在所		河川監視ライブカメラ		高速道路
	公共施設				国道
	土砂災害警戒区域等※		土砂災害の危険がある箇所		浸水想定区域図
	土砂災害警戒区域(がけ崩れ)		急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区		10.0m~20.0m
	土砂災害特別警戒区域(がけ崩れ)		土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区		5.0m~10.0m
	土砂災害警戒区域指定予定(がけ崩れ)		注意が必要な箇所		3.0m~5.0m
	土砂災害警戒区域(土石流)		アンダーパス		0.5m~3.0m
	土砂災害特別警戒区域(土石流)		阿武隈川増水時 通行注意箇所		0.5m未満
	土砂災害警戒区域指定予定(土石流)		防災重点農業用ため池・ダム		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
	土砂災害警戒区域(地すべり)		浸水実績(2019年 台風第19号)		家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

※土砂災害警戒区域の指定状況は、令和4年12月末現在

区分	避難場所	掲載頁	対象とする異常な現象			
			洪水	土砂	地震	火山
二本松地域	指定緊急避難場所  (屋外)					
	あだたら高原野営場	11	○	○	○	—
	塩沢農村広場	12	○	○	○	—
	岳公園	18	○	—	○	—
	安達太良カントリークラブ	18	○	○	○	—
	永田農村広場	19	○	○	○	—
	原七農村広場	19	○	○	○	—
	にほんまつ保育園	20	○	○	○	—
	若宮公園	20	○	○	○	—
	松岡児童遊園	20	○	○	○	—
	真弓ひろば	20	○	—	○	—
	郭内公園	20	○	○	○	—
	霞ヶ城公園	20	○	○	○	—
	表西公園	20	○	○	○	—
	茶園児童遊園	20	○	○	○	—
	愛宕山公園	21	○	○	○	—
	二本松文化センター	21	○	○	○	—
	安達ヶ原公園	22	○	○	○	—
	原瀬考古資料室跡地	23	○	○	○	—
	二本松市役所	24	○	○	○	—
	金色公園	24	○	○	○	—
	向原公園	24	○	○	○	—
	公設地方卸売市場	24	○	○	○	—
	大平農村広場	26	○	○	○	—
	箕輪集会所	32	○	—	○	—
	杉田農村広場	34	○	○	○	—
	石井運動広場	35	○	○	○	—
	地域文化伝承館	36	○	○	○	—
	指定避難所  (屋内)					
	塩沢住民センター	12	○	○	○	○
	安達高等学校	21	○	○	○	○
	二本松実業高等学校	21	○	○	○	○
	石井住民センター	35	○	○	○	○
	指定緊急避難場所兼指定避難所  (屋外・屋内)					
	塩沢小学校	12	○	○	○	○
	安達太良小学校	18	○	○	○	—
原瀬小学校	18	○	○	○	○	
二本松北小学校	20	○	○	○	○	
二本松市市民交流センター	20	○	○	○	○	
二本松南小学校	21	○	○	○	○	
二本松第一中学校	21	○	○	○	○	
安達ヶ原ふるさと村	21	—	○	○	○	
二本松第三中学校	23	○	○	○	○	
岳下小学校	24	○	○	○	○	
岳下住民センター	24	○	○	○	○	
大平小学校	26	○	○	○	○	
二本松第二中学校	26	○	○	○	○	
大平住民センター	26	○	○	○	○	
杉田住民センター	33	○	○	○	—	
杉田小学校	34	○	○	○	—	
石井小学校	35	○	○	○	○	
安達地域	指定緊急避難場所  (屋外)					
	安達運動場	13	○	○	○	—
	安達野球場	13	○	○	○	—
	道の駅安達(上り)	14	○	○	○	—
	道の駅安達(下り)	14	○	○	○	—
	安達支所	21	○	○	○	—
	指定避難所  (屋内)					
	安達体育館	13	○	○	○	○
	安達公民館	21	○	○	○	—
	指定緊急避難場所兼指定避難所  (屋外・屋内)					
	渋川小学校	13	○	○	○	○
	安達中学校	13	○	○	○	○
	渋川住民センター	13	○	○	○	—
	下川崎住民センター	14	○	○	○	○
	油井小学校	21	○	○	○	○
	川崎小学校	22	○	○	○	○
	上川崎住民センター	22	○	○	○	○
	指定緊急避難場所  (屋外)					
	岩代支所	37	○	—	○	—
	岩代運動場	37	○	○	○	—
	成田公園	43	○	○	○	—
初森グラウンド	43	○	○	○	—	
新殿運動場	44	○	○	○	—	
道の駅さくらの郷	45	○	○	○	—	
旭運動場	46	○	○	○	—	
指定避難所  (屋内)						
岩代公民館	37	○	○	○	○	
新殿住民センター	44	○	○	○	○	
旭住民センター	46	○	—	○	○	
指定緊急避難場所兼指定避難所  (屋外・屋内)						
小浜小学校	37	○	—	○	○	
小浜中学校	37	○	○	○	○	
旭小学校	40	○	—	○	○	
新殿小学校	44	○	○	○	○	
岩代中学校	44	○	○	○	○	
東和地域	指定緊急避難場所  (屋外)					
	水舟運動場	15	○	○	○	—
	カントリーパークとうわ	28	○	○	○	—
	東和支所	29	○	○	○	—
	すぱーく東和	29	○	○	○	—
	道の駅ふくしま東和	39	○	○	○	—
	指定避難所  (屋内)					
	東和第一体育館	29	○	○	○	○
	指定緊急避難場所兼指定避難所  (屋外・屋内)					
	木幡住民センター	15	○	○	○	○
	ウッディハウスとうわ	15	○	○	○	○
	東和小学校	28	○	○	○	○
	東和中学校	28	○	○	○	○
	太田住民センター	28	○	—	○	○
	東和文化センター	29	○	○	○	○
戸沢住民センター	39	○	○	○	○	

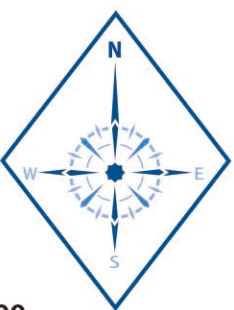
※災害の種類により ○…避難可能 —…避難不可 (ただし災害の規模により○でも避難不可となる場合があります。)



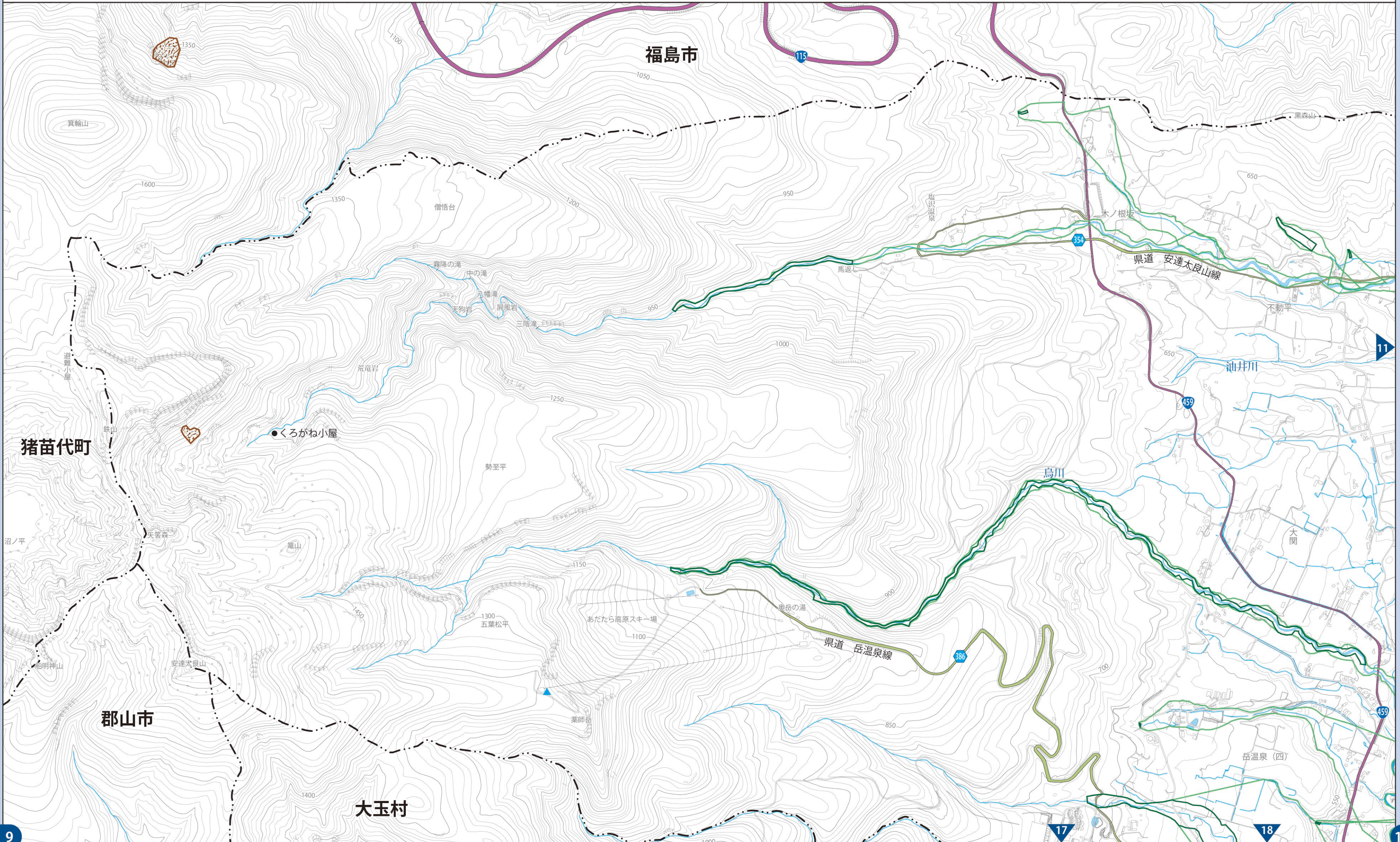
凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>特別警戒区域 警戒区域 警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>



1:15,000  
0 250 500 750m 1000m





凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

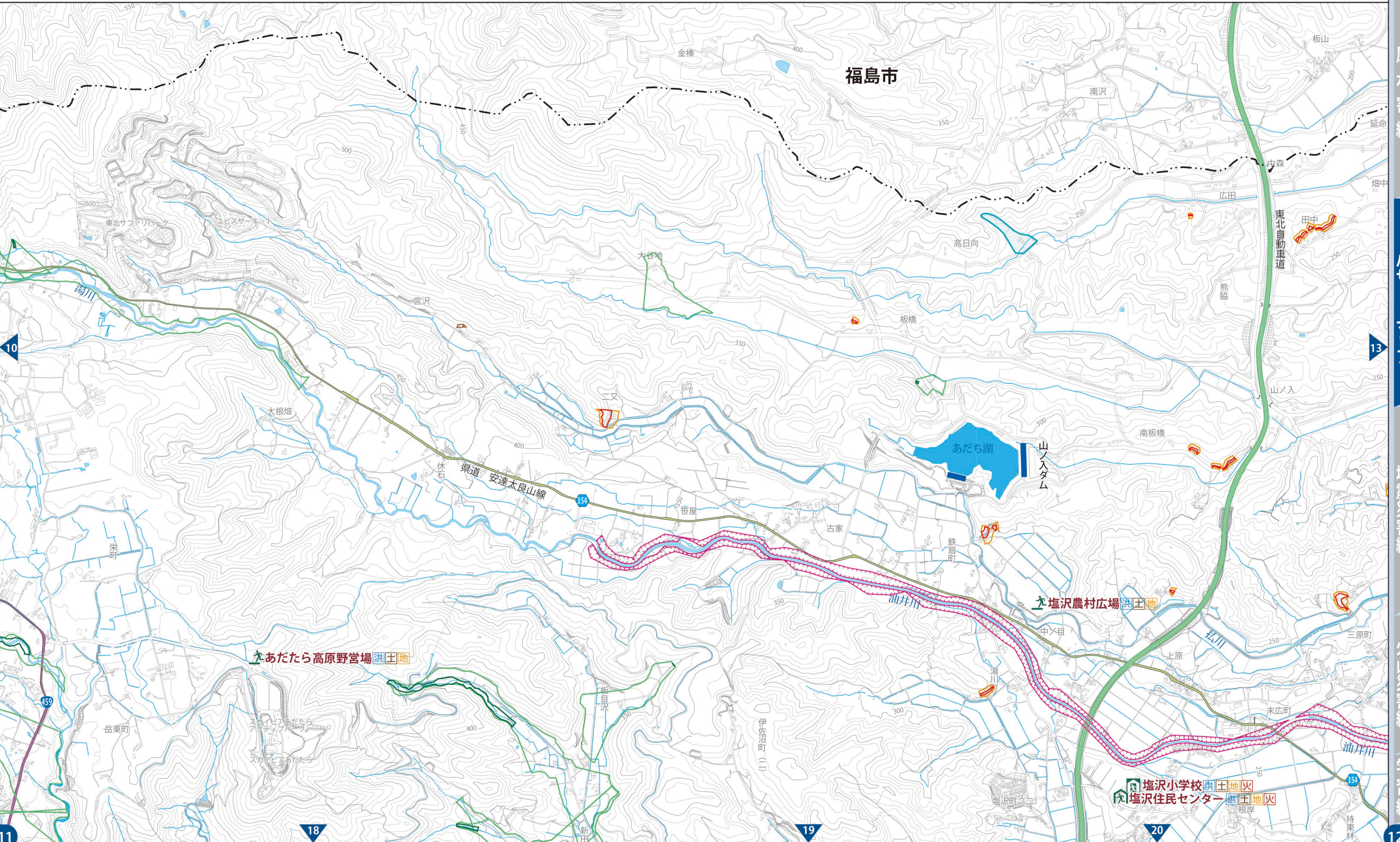
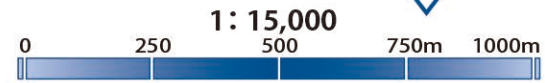
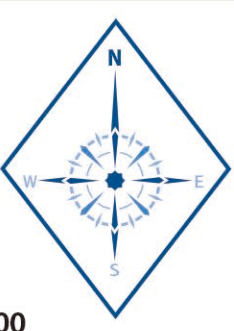
急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>

### 浸水予測凡例

	約10.0m
	約5.0m
	約3.0m
	約0.5m
	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)





凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

**土砂災害の危険凡例**

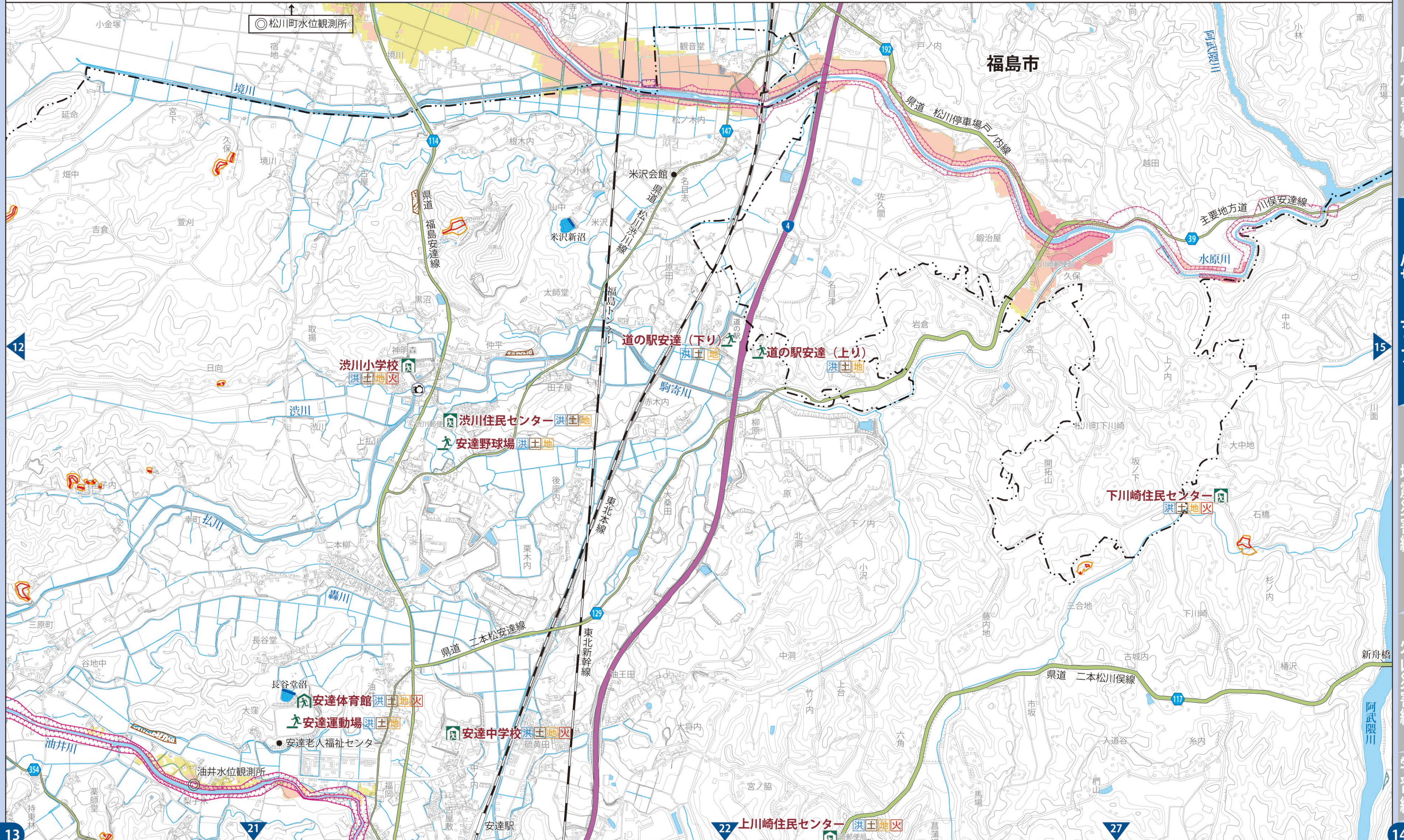
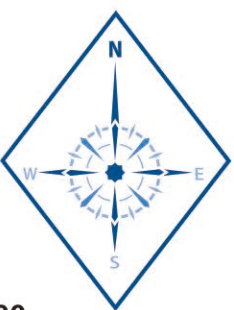
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>

**浸水予測凡例**

	約10.0m
	約5.0m
	約3.0m
	約0.5m
	0.5m未満

**家屋倒壊等凡例**

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

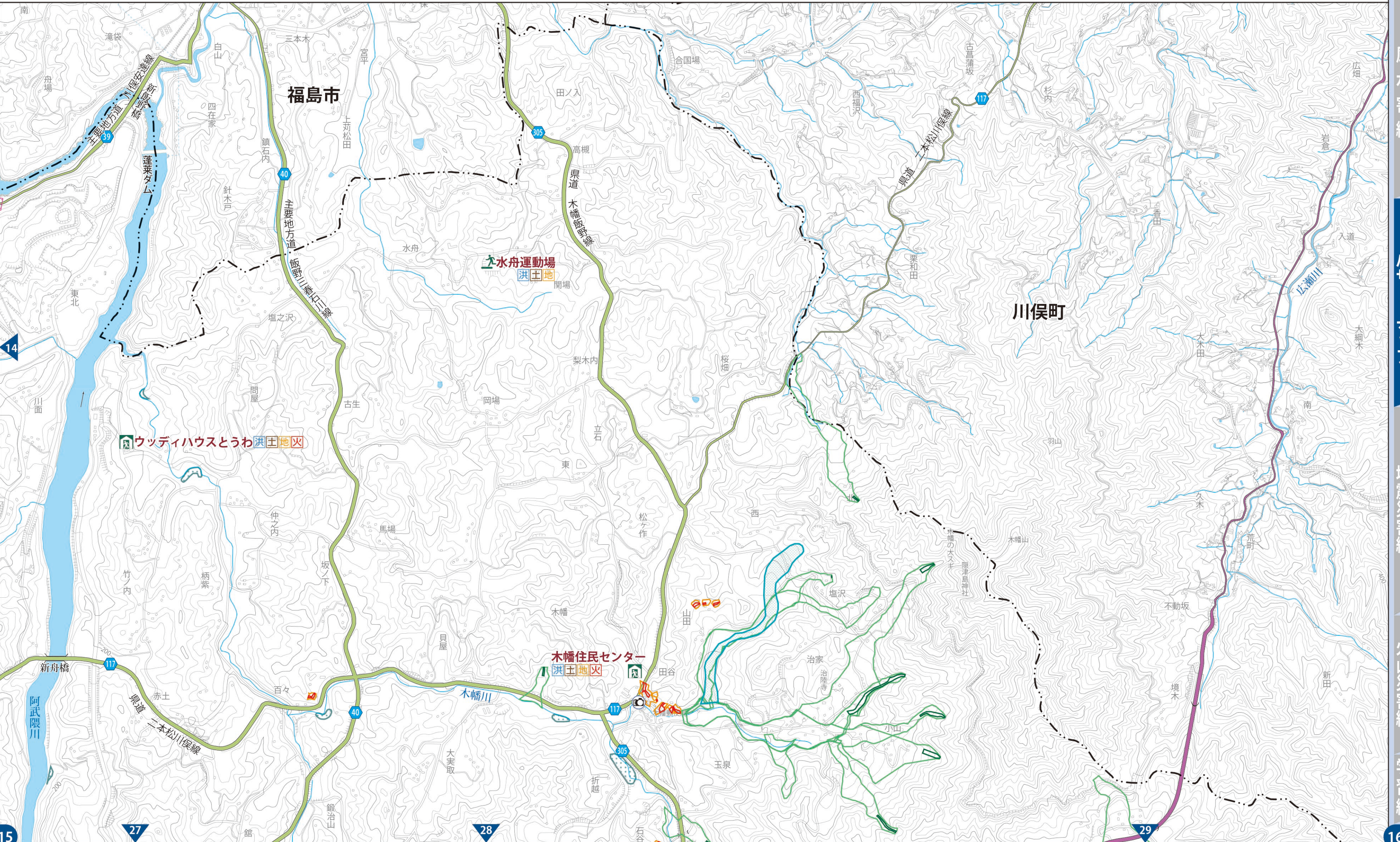
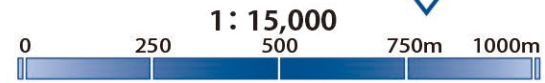
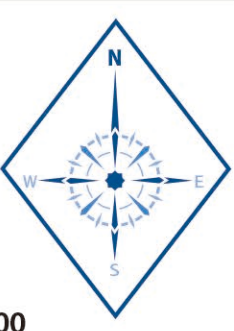




凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>特別警戒区域 警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域 警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>





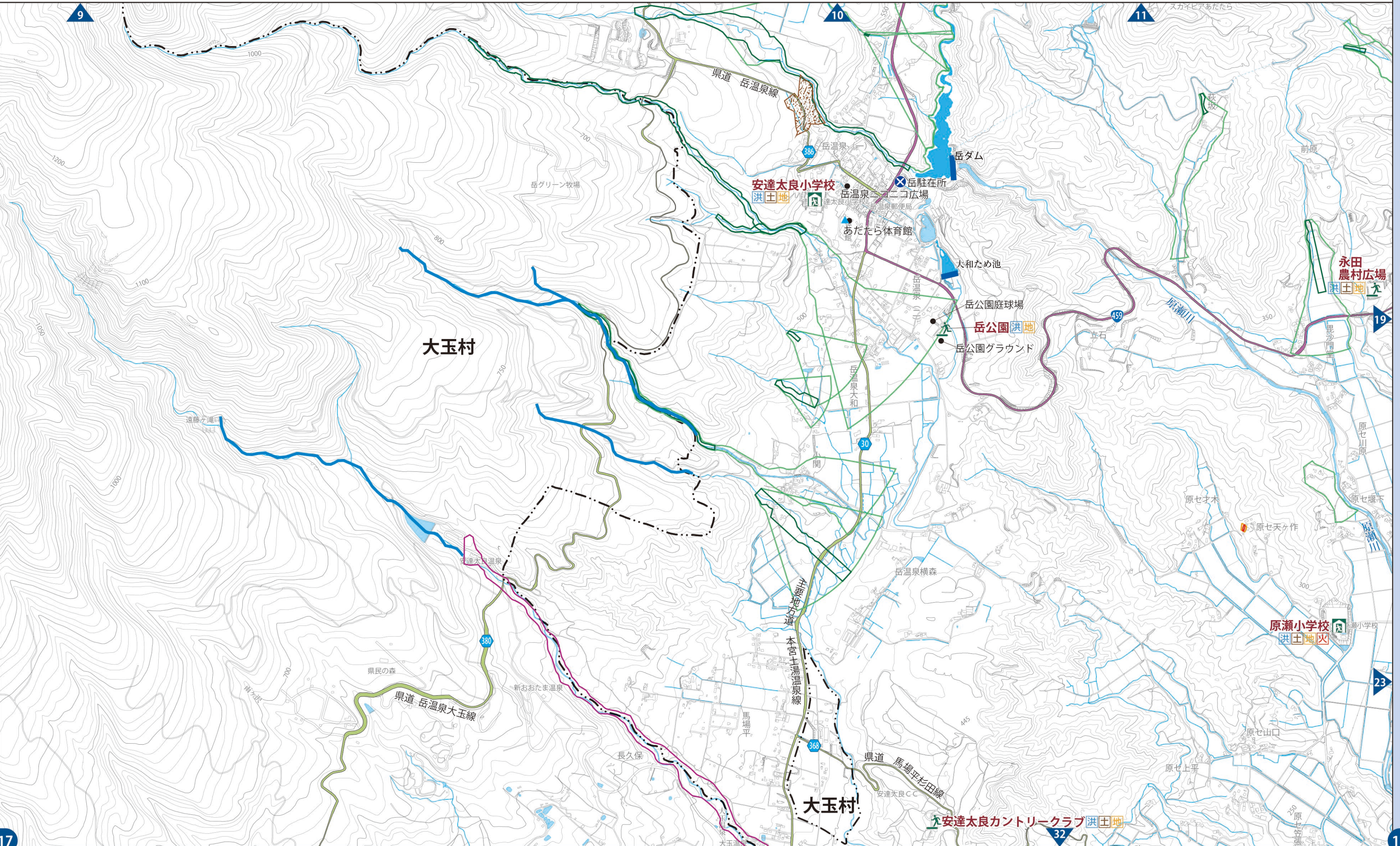
凡例					
	緊急避難場所		雨量観測所		新幹線
	避難所		水位観測所		鉄道
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ		高速道路
	市役所など				国道
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池・ダム		主要地方道・県道
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)		水域
	公共施設		地域境		市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域 急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p>	<p>特別警戒区域 土石流危険渓流 崩壊土石流出危険地区</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>
警戒区域	警戒区域	警戒区域
土砂災害警戒区域指定予定	土砂災害警戒区域指定予定	

1:15,000

0 250 500 750m 1000m

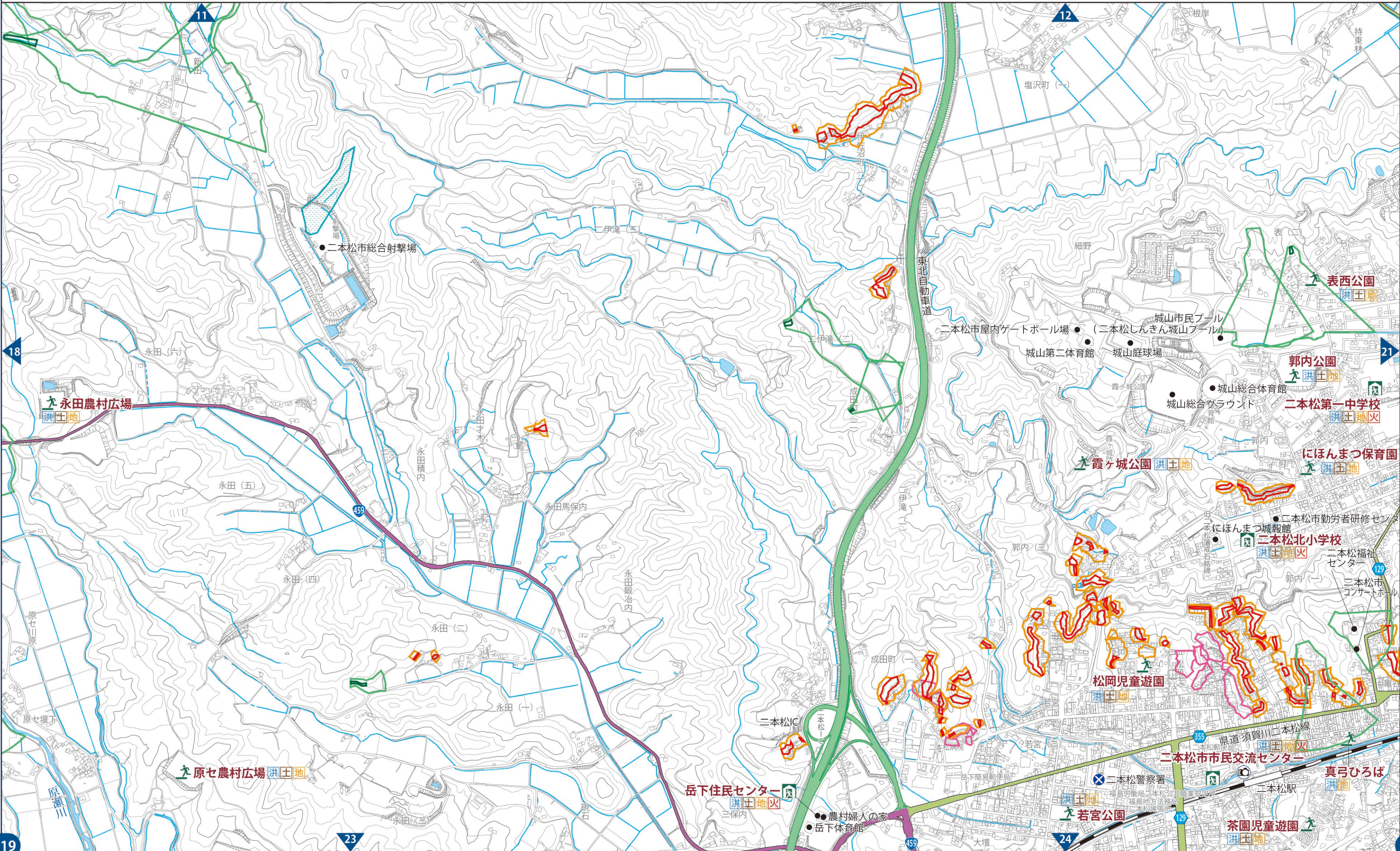
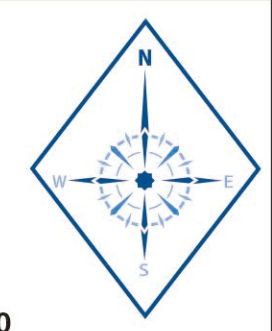




緊急避難場所	雨量観測所	新幹線
避難所	水位観測所	鉄道
緊急避難場所兼避難所	河川監視ライブカメラ	高速道路
市役所など		国道
消防署・出張所	防災重点農業用ため池ダム	主要地方道・県道
警察署・交番・駐在所	浸水実績 (2019年台風第19号)	水域
公共施設		地域境
		市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域</p> <p>特別警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土石流出危険地区</p> <p>警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>





緊急避難場所	雨量観測所	新幹線
避難所	水位観測所	鉄道
緊急避難場所兼避難所	河川監視ライブカメラ	高速道路
市役所など		国道
消防署・出張所	防災重点農業用ため池・ダム	主要地方道・県道
警察署・交番・駐在所	浸水実績 (2019年台風第19号)	水域
公共施設		地域境
		市境

### 土砂災害の危険凡例

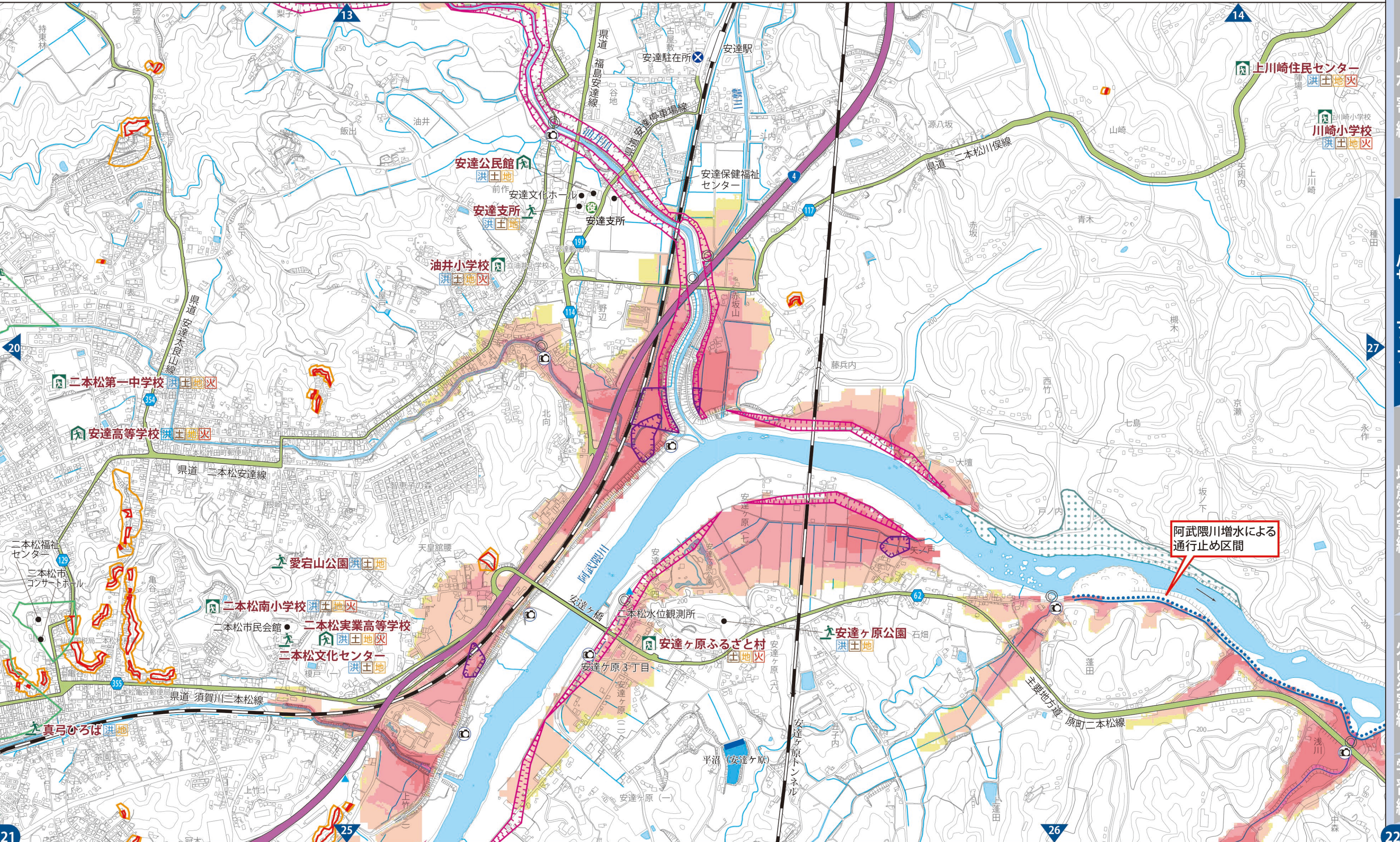
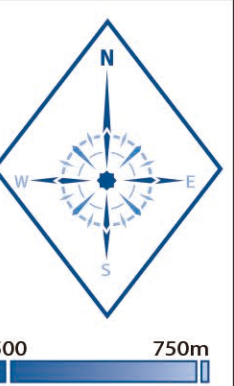
<h4>急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)</h4> <p>警戒区域 特別警戒区域</p>	<h4>土石流</h4> <p>特別警戒区域</p>	<h4>地すべり</h4> <p>土砂災害警戒区域</p>
---	----------------------------	-------------------------------

### 浸水予測凡例

約10.0m	10.0m ~ 20.0m
約5.0m	5.0m ~ 10.0m
約3.0m	3.0m ~ 5.0m
約0.5m	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)



阿武隈川増水による  
通行止め区間



凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

#### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

警戒区域  
特別警戒区域

#### 土石流

特別警戒区域  
警戒区域

#### 地すべり

土砂災害警戒区域

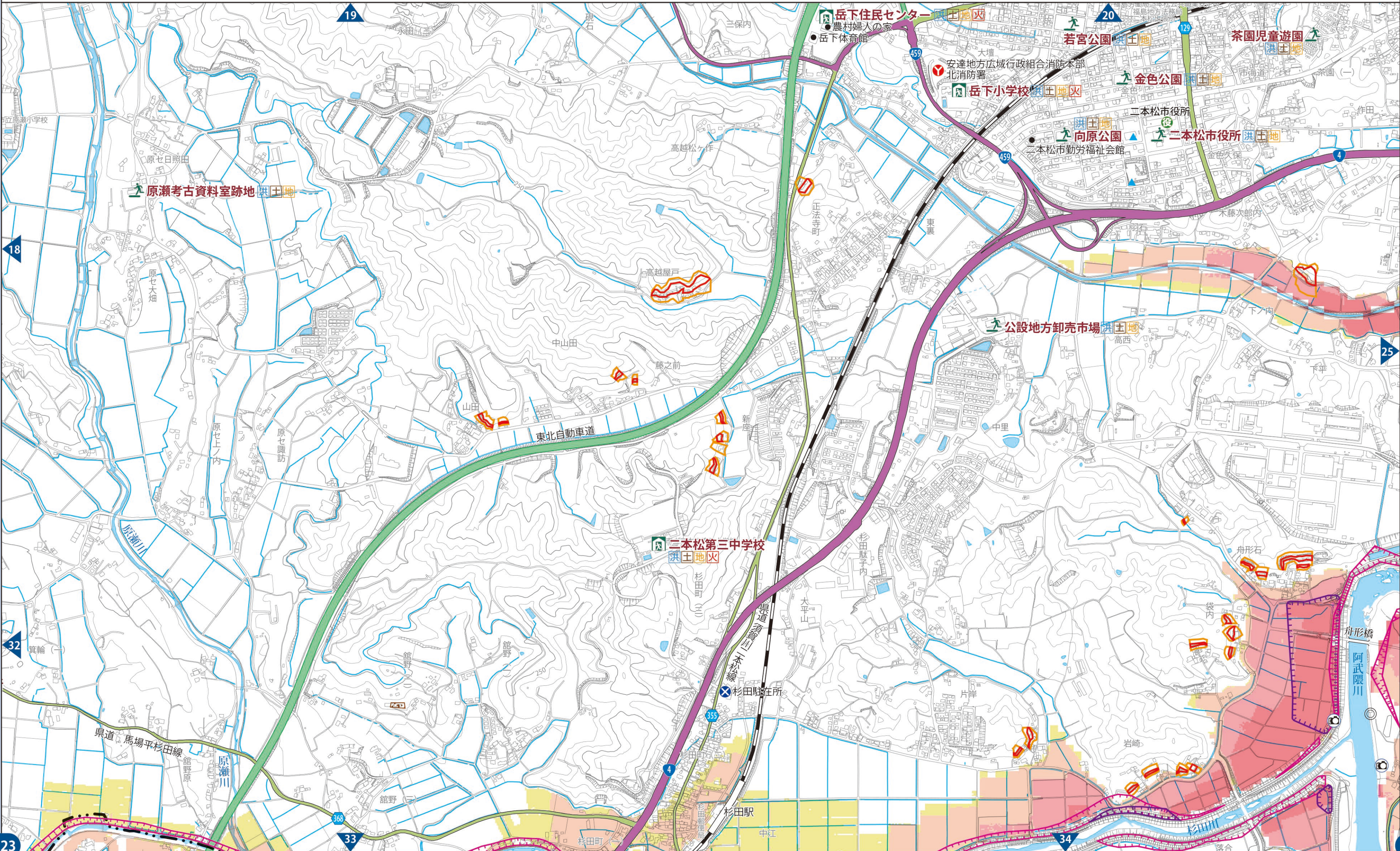
### 浸水予測凡例

約10.0m	10.0m ~ 20.0m
約5.0m	5.0m ~ 10.0m
約3.0m	3.0m ~ 5.0m
約0.5m	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

1: 10,000





凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>

### 浸水予測凡例

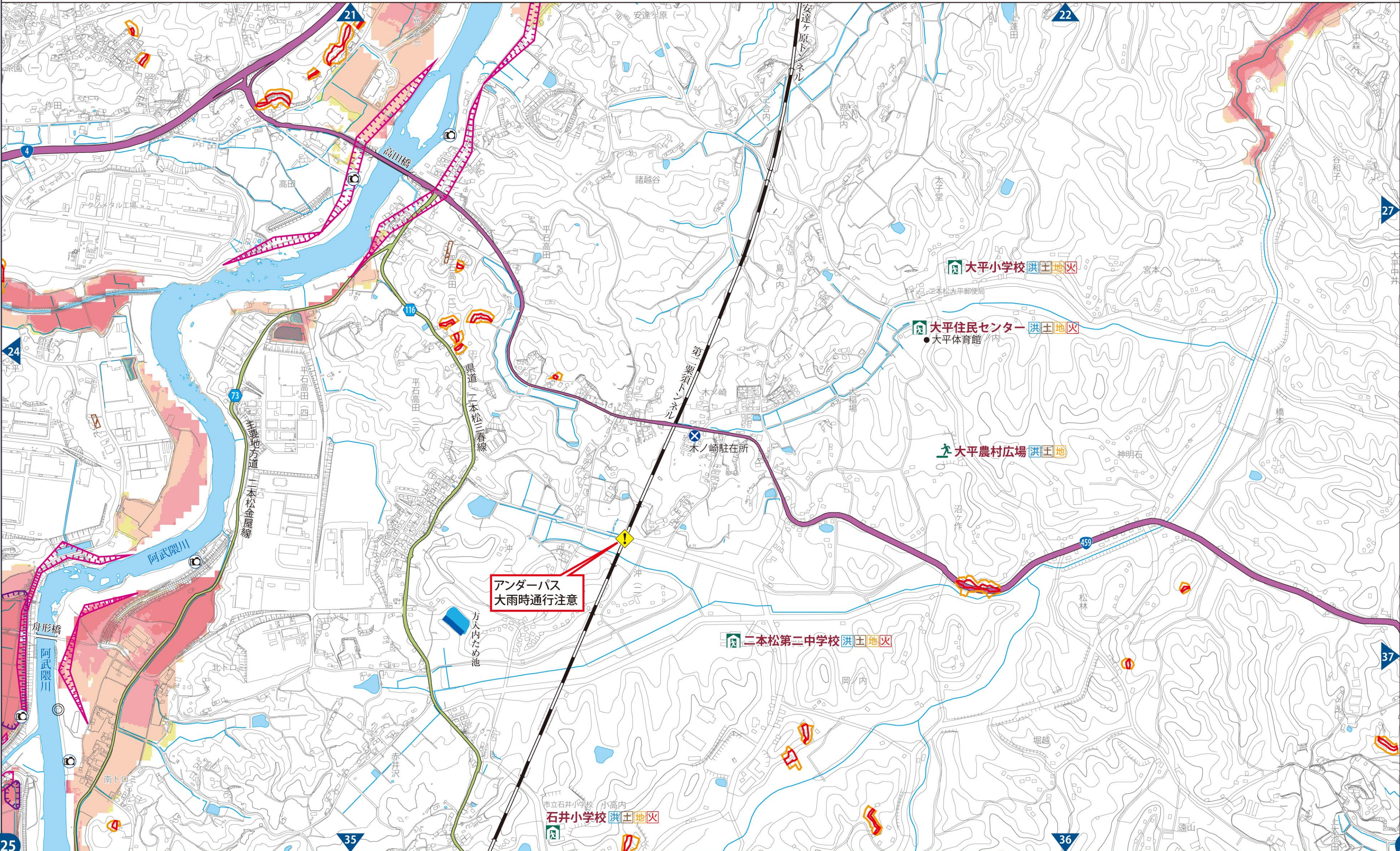
	約10.0m	10.0m ~ 20.0m
	約5.0m	5.0m ~ 10.0m
	約3.0m	3.0m ~ 5.0m
	約0.5m	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

1: 10,000

0 250 500 750m





凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

#### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

特別警戒区域  
警戒区域  
土砂災害警戒区域指定予定

#### 土石流

特別警戒区域  
警戒区域  
土砂災害警戒区域指定予定

#### 地すべり

土砂災害警戒区域

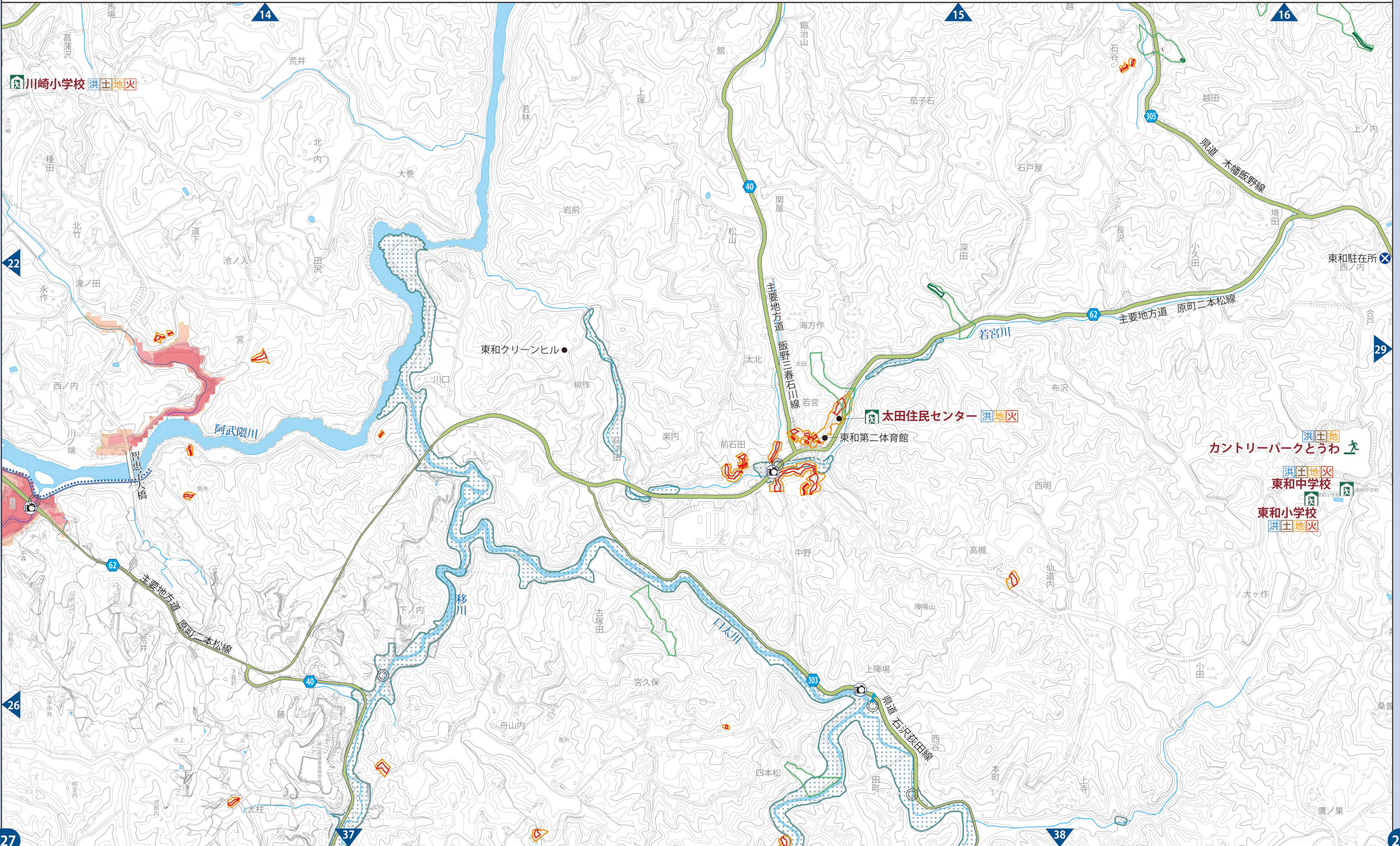
### 浸水予測凡例

	10.0m ~ 20.0m
	5.0m ~ 10.0m
	3.0m ~ 5.0m
	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

1: 15,000

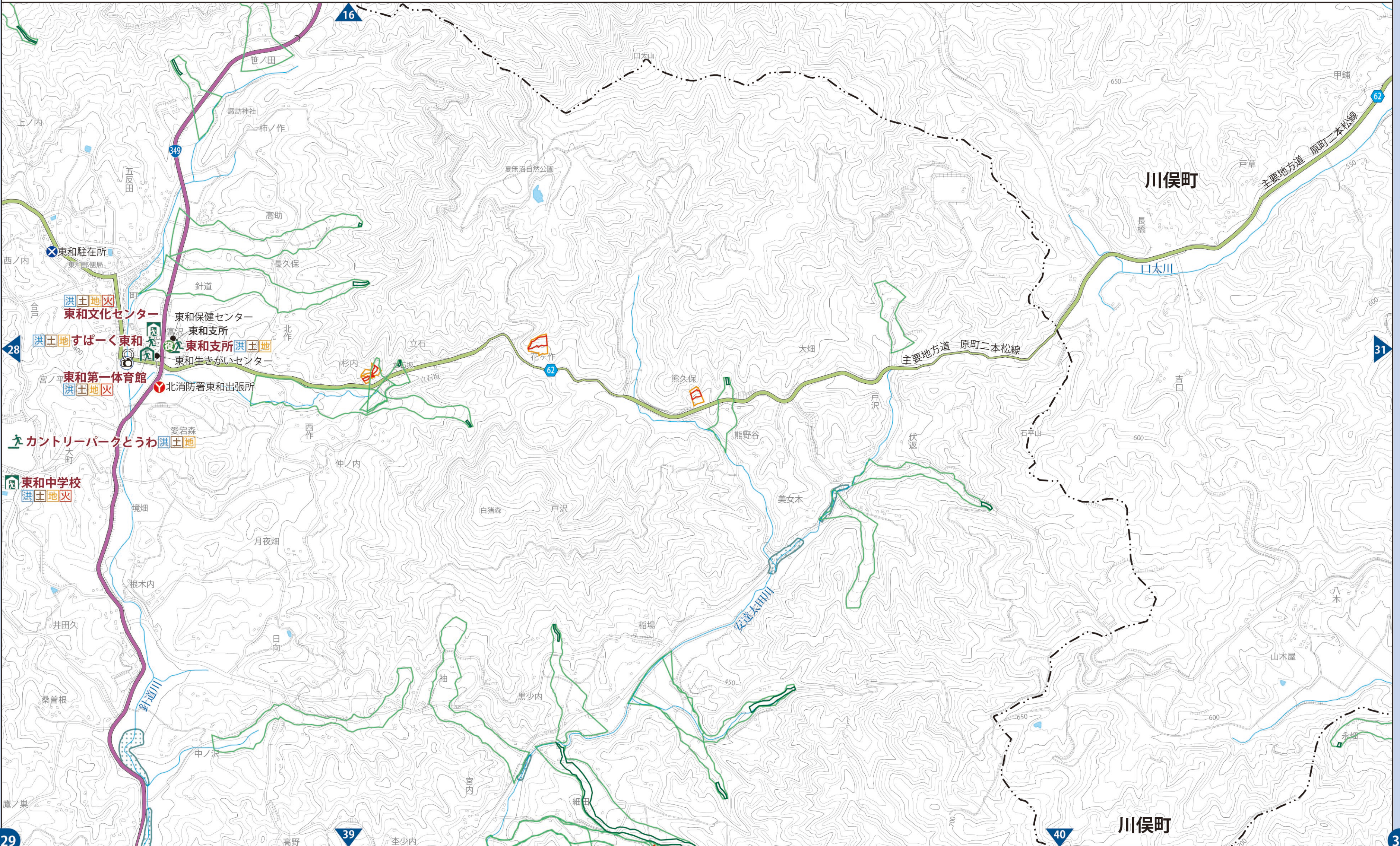
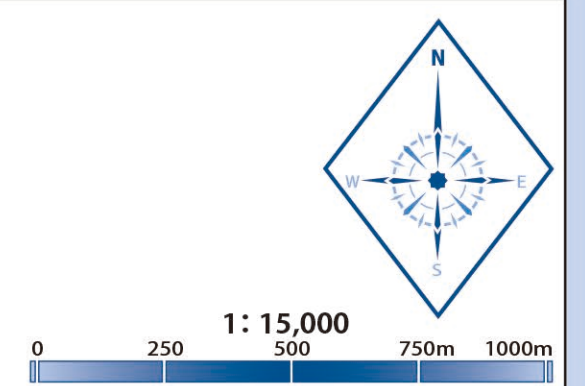




凡例					
	緊急避難場所		雨量観測所		新幹線
	避難所		水位観測所		鉄道
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ		高速道路
	市役所など				国道
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池ダム		主要地方道・県道
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)		水域
	公共施設				地域境
					市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>特別警戒区域 警戒区域 急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定 土石流危険渓流 崩壊土石流出危険地区</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>





凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

#### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

特別警戒区域  
警戒区域  
土砂災害警戒区域指定予定

#### 土石流

土石流危険渓流  
崩壊土砂流出危険地区  
土砂災害警戒区域指定予定

#### 地すべり

土砂災害警戒区域  
土砂災害警戒区域指定予定

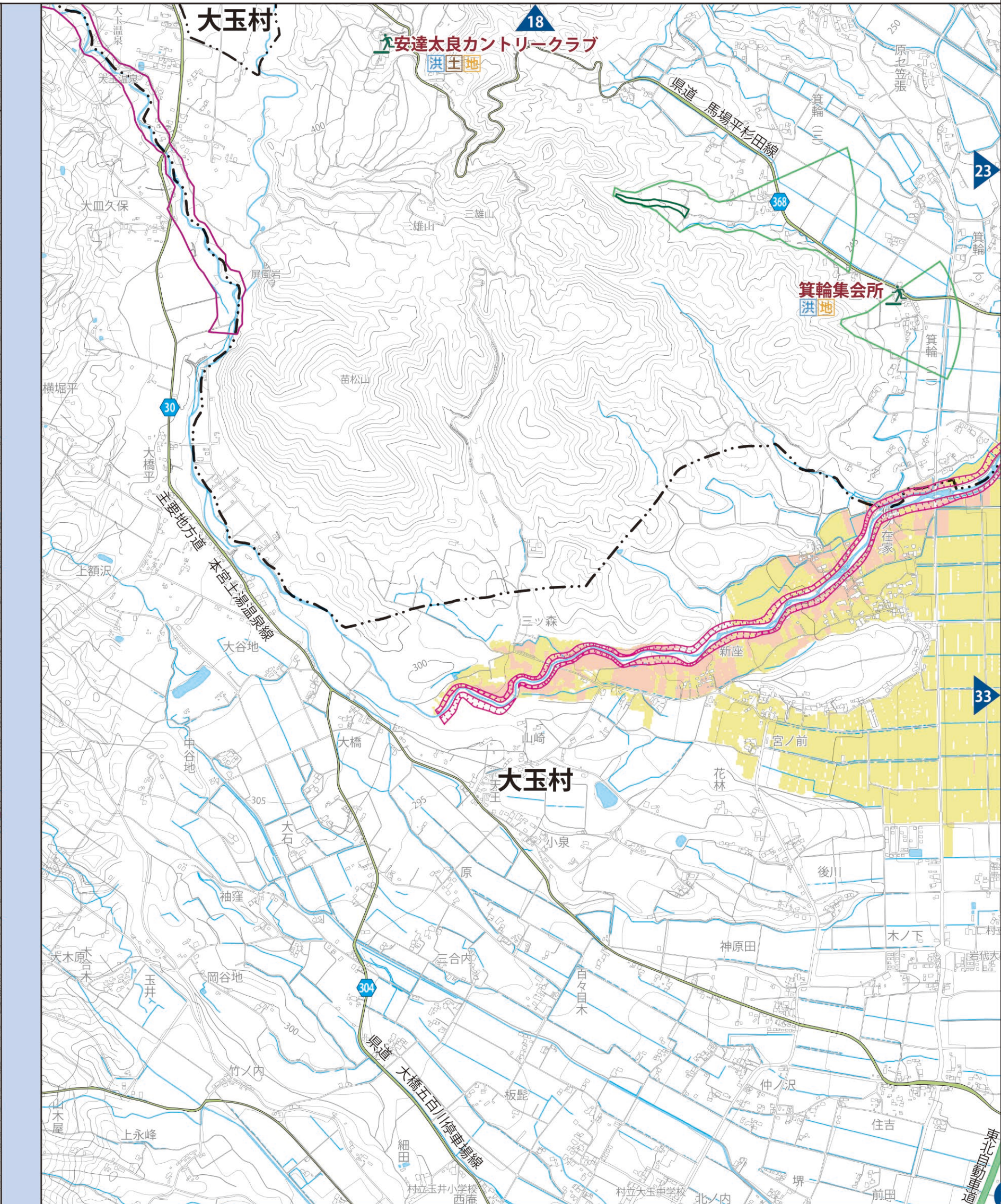
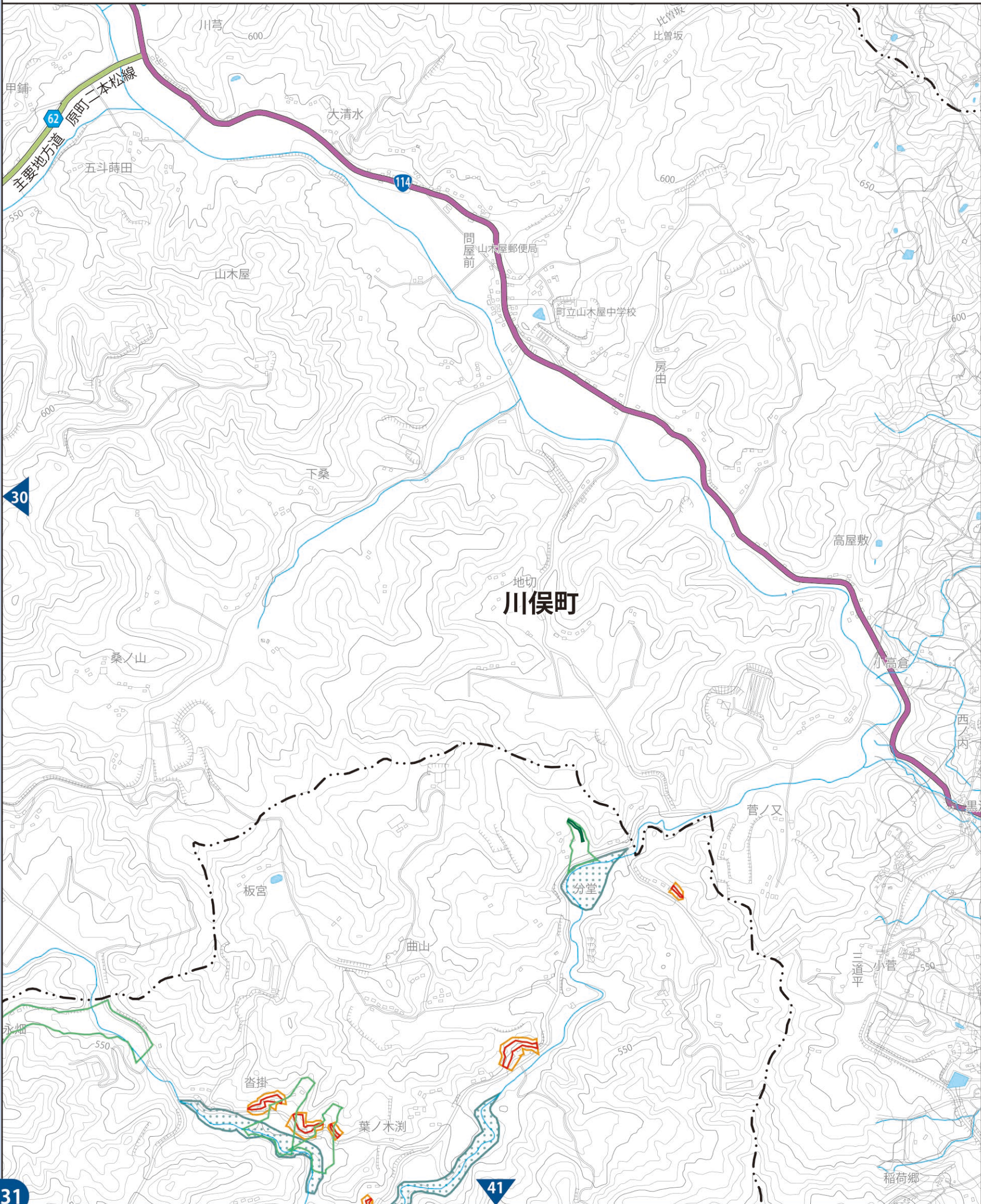
### 浸水予測凡例

	10.0m ~ 20.0m
	5.0m ~ 10.0m
	3.0m ~ 5.0m
	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

1: 15,000









凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>

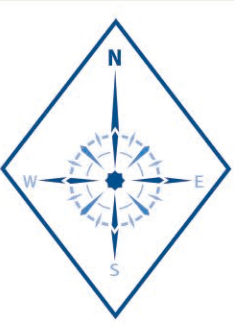
### 浸水予測凡例

	10.0m ~ 20.0m
	5.0m ~ 10.0m
	3.0m ~ 5.0m
	0.5m ~ 3.0m
	0.5m 未満

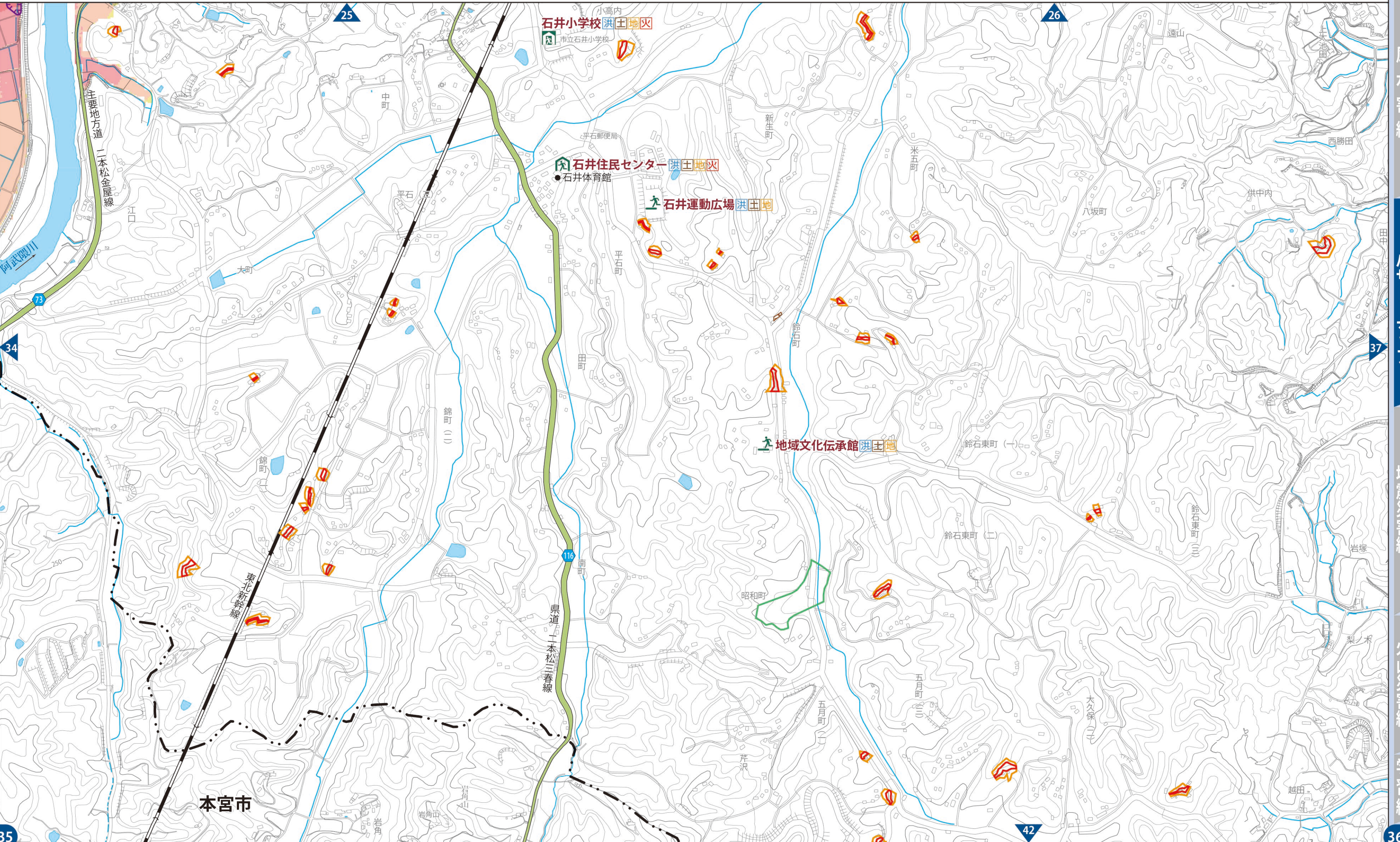
約10.0m  
約5.0m  
約3.0m  
約0.5m

### 家屋倒壊等凡例

	家屋倒壊等氾濫 想定区域(河岸侵食)
	家屋倒壊等氾濫 想定区域(氾濫流)

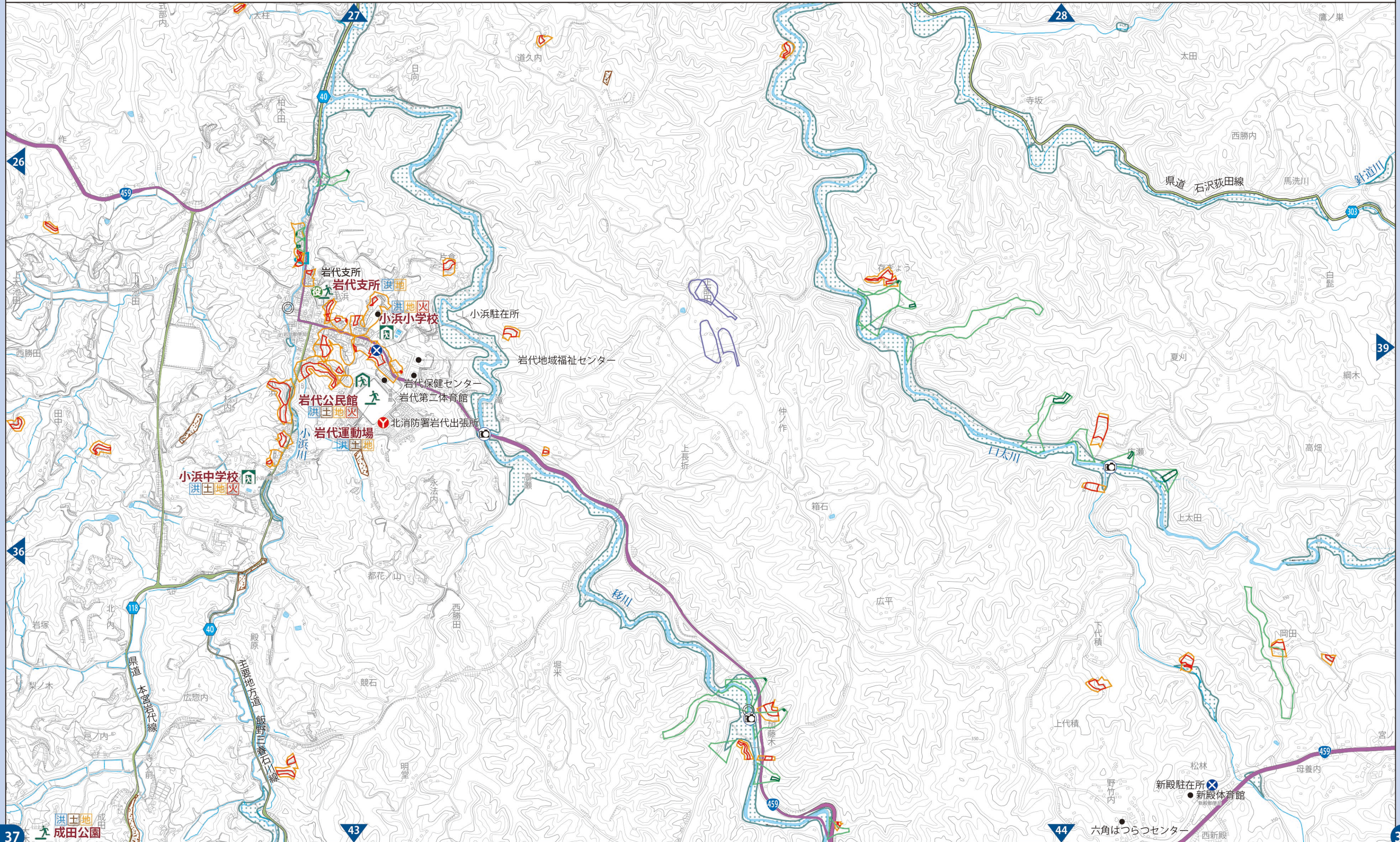
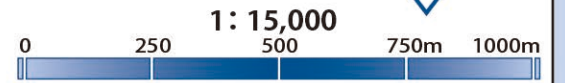
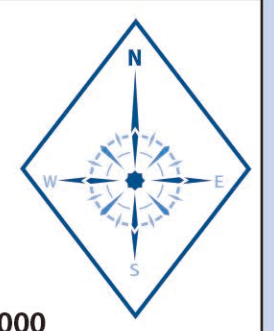
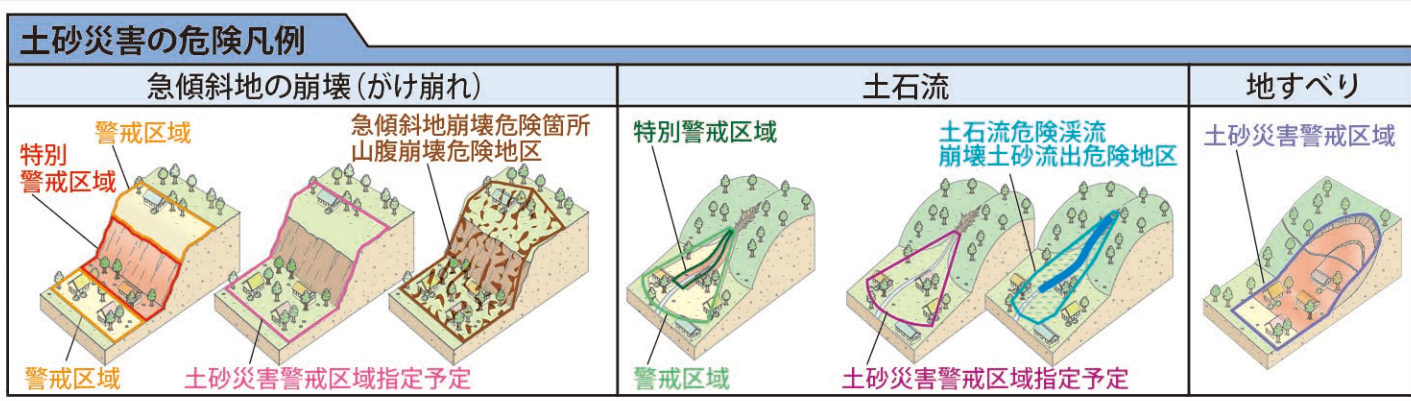


1:10,000





凡例					
	緊急避難場所		雨量観測所		新幹線
	避難所		水位観測所		鉄道
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ		高速道路
	市役所など				国道
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池・ダム		主要地方道・県道
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)		水域
	公共施設				地域境
					市境

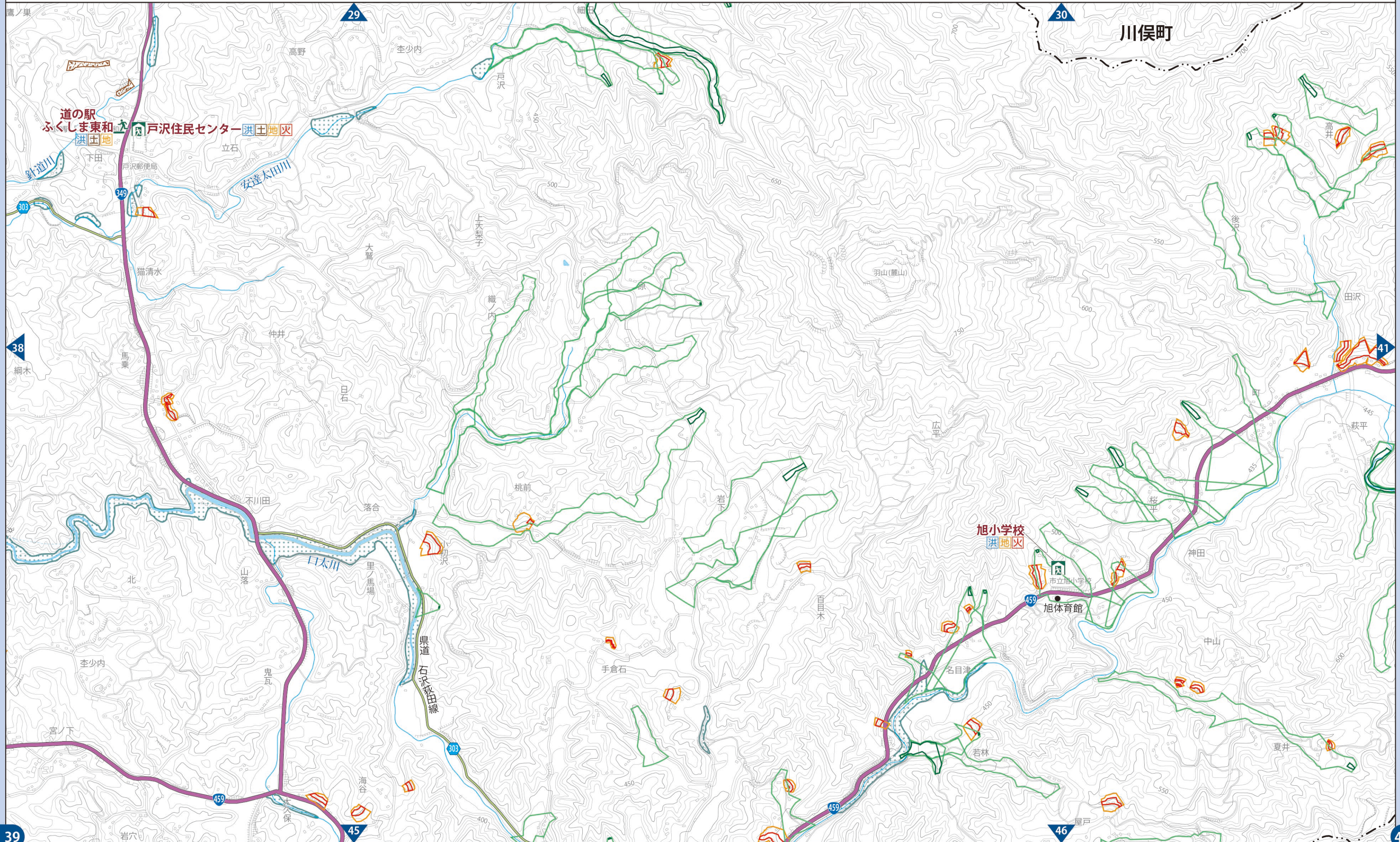
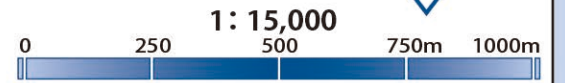
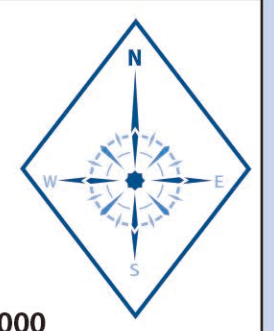




凡例					
	緊急避難場所		雨量観測所		新幹線
	避難所		水位観測所		鉄道
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ		高速道路
	市役所など				国道
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池・ダム		主要地方道・県道
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)		水域
	公共施設		地域境		市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	土石流	地すべり





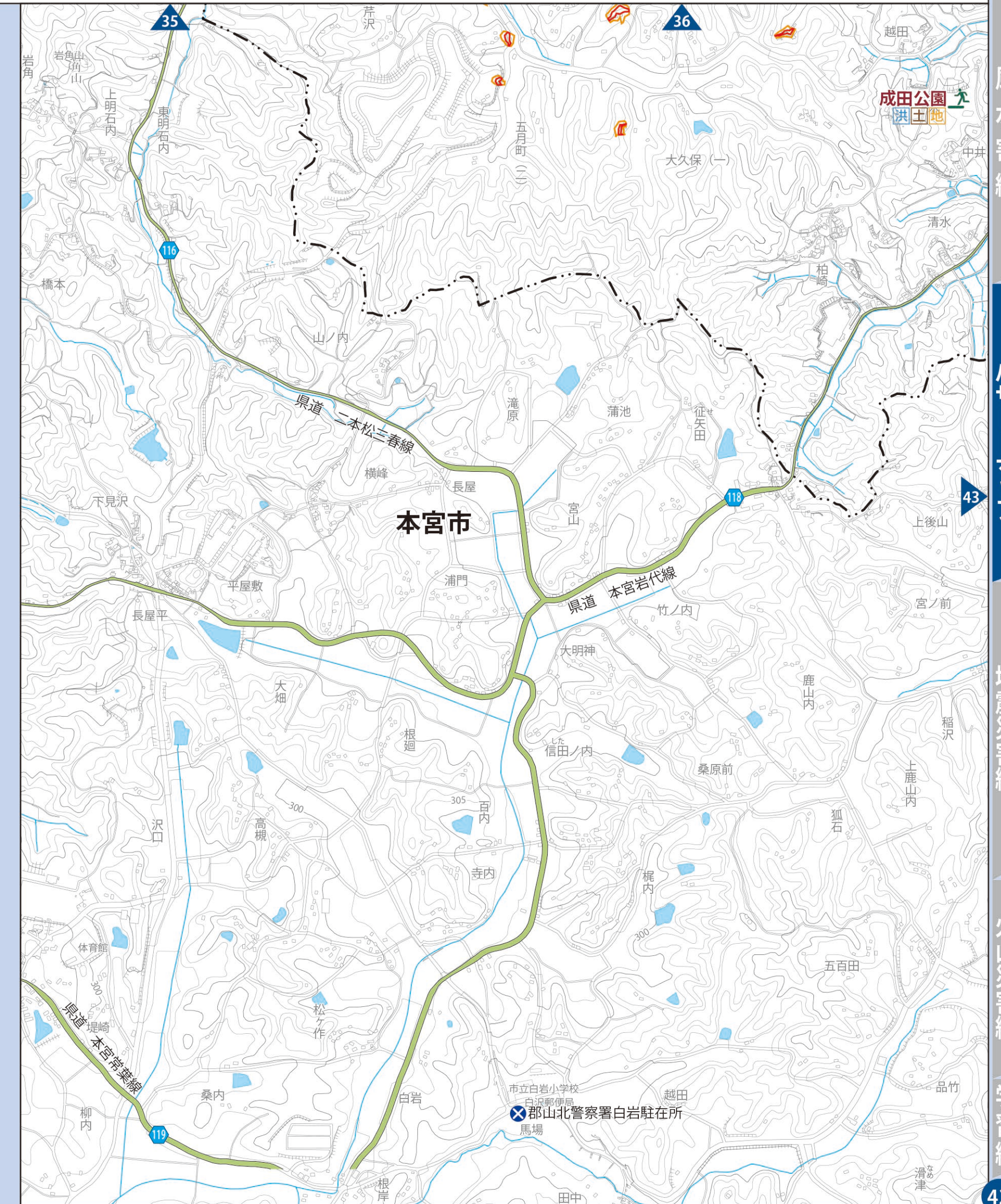
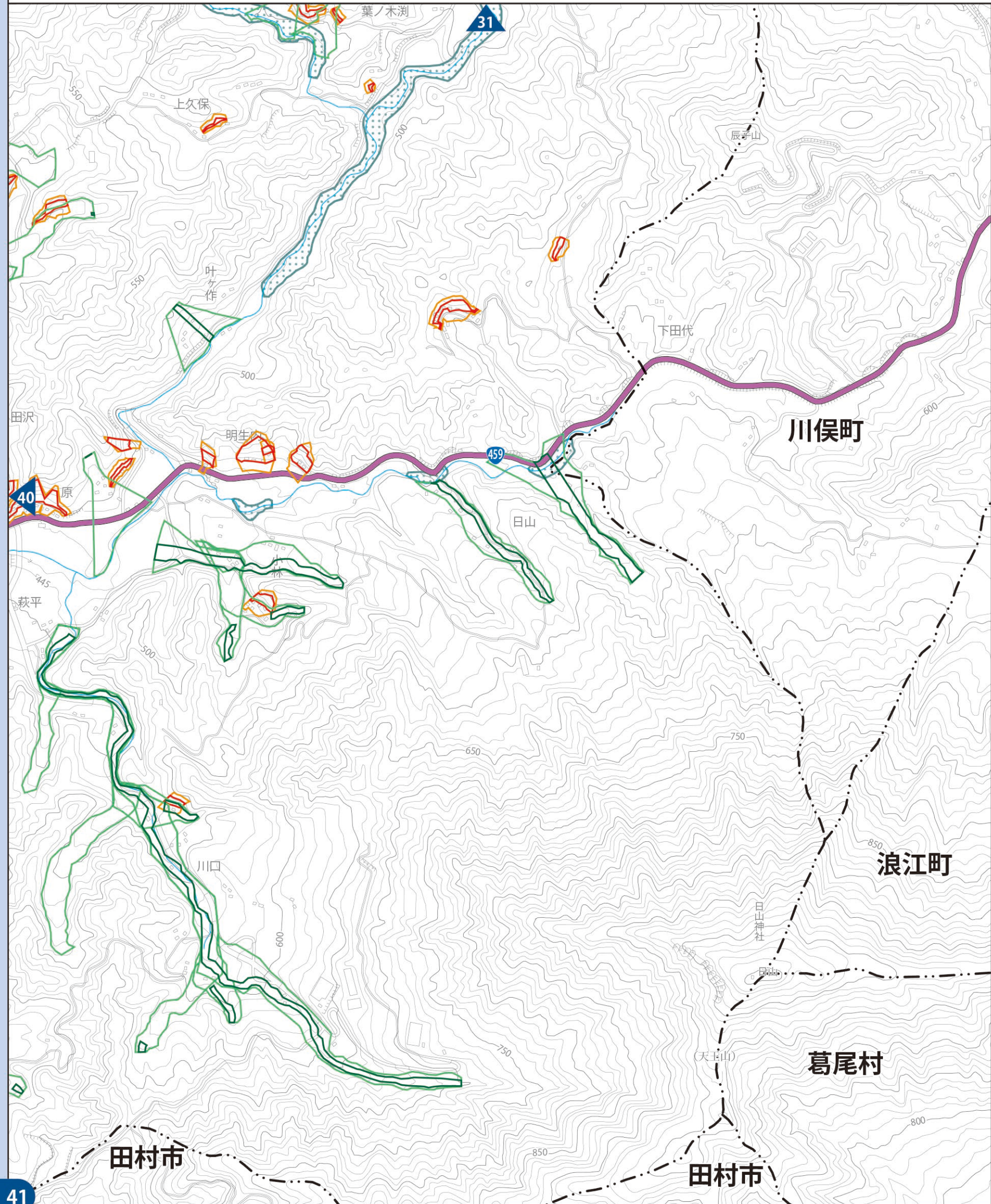
凡例	
	緊急避難場所
	避難所
	緊急避難場所兼避難所
	市役所など
	消防署・出張所
	警察署・交番・駐在所
	公共施設
	雨量観測所
	水位観測所
	河川監視ライブカメラ
	防災重点農業用ため池・ダム
	浸水実績 (2019年台風第19号)
	新幹線
	鉄道
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道
	水域
	地域境
	市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>特別警戒区域 警戒区域 警戒区域</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p> <p>土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>特別警戒区域</p> <p>土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p> <p>土砂災害警戒区域指定予定</p>	<p>警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>

1:15,000

0 250 500 750m 1000m

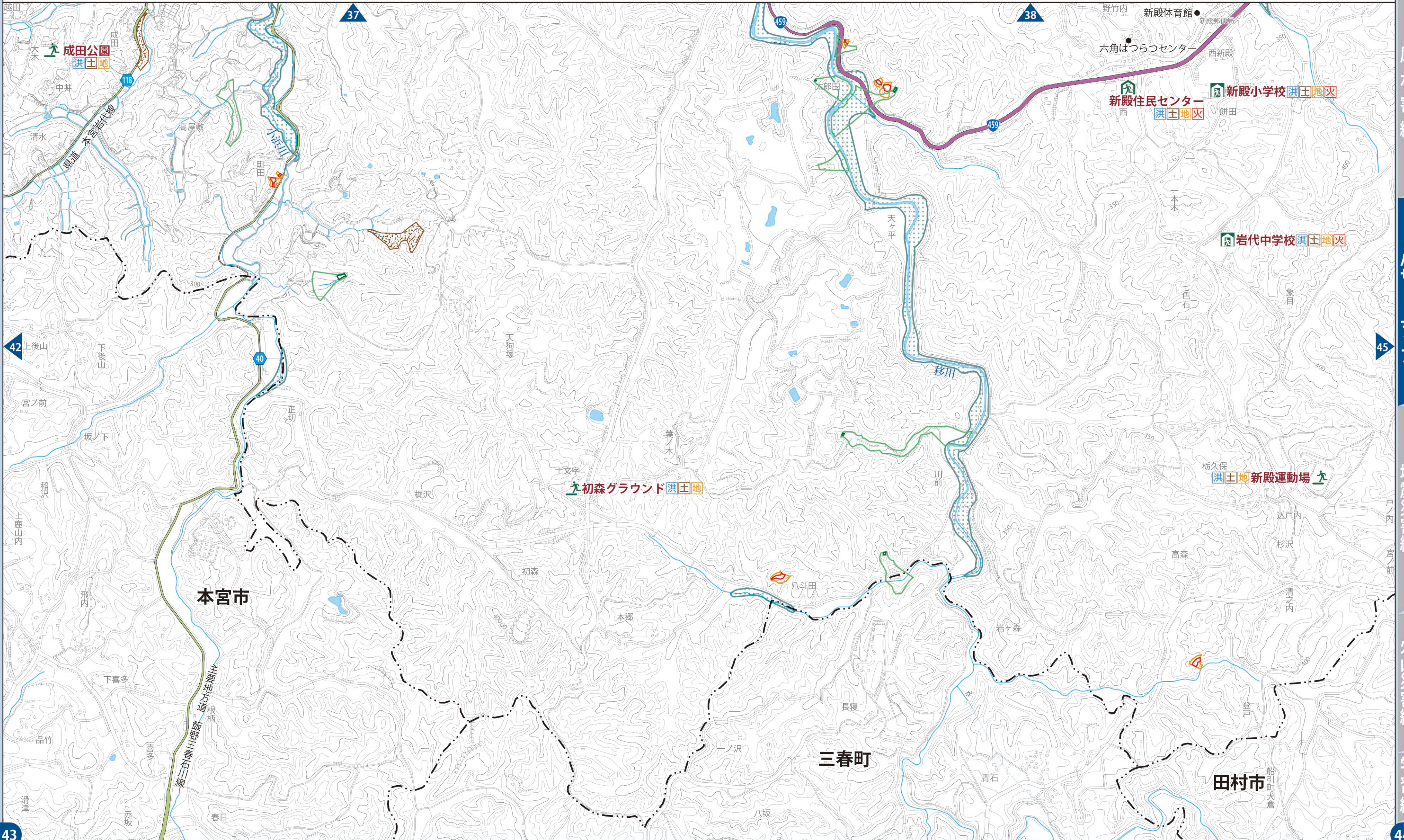
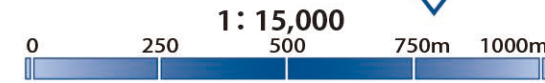
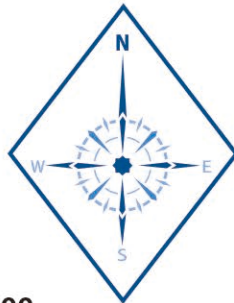




凡例			
	緊急避難場所		雨量観測所
	避難所		水位観測所
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ
	市役所など		
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池ダム
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)
	公共施設		新幹線
			鉄道
			高速道路
			国道
			主要地方道・県道
			水域
			地域境
			市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり

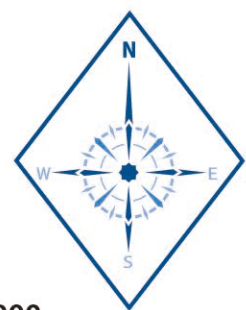




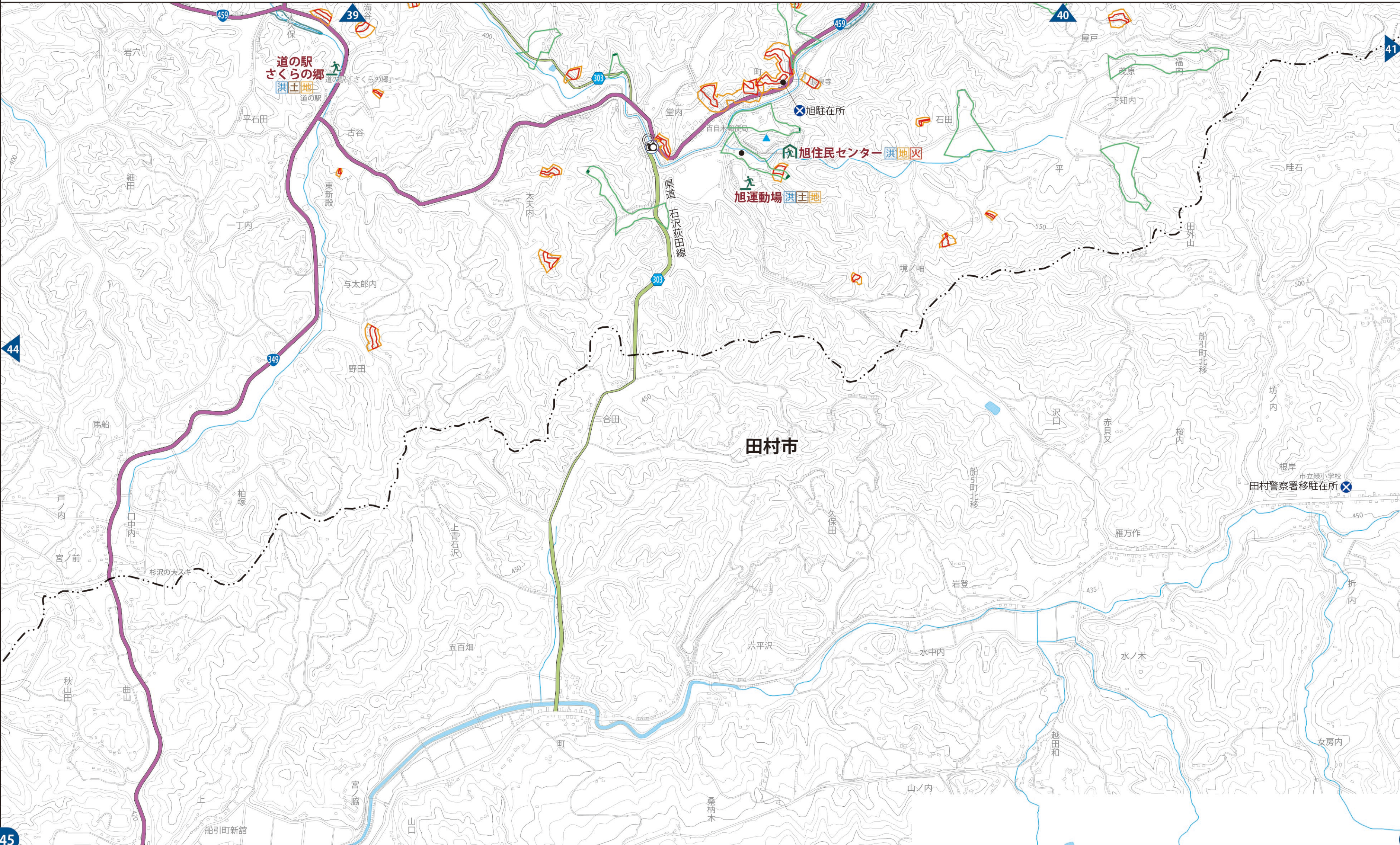
凡例			
	緊急避難場所		雨量観測所
	避難所		水位観測所
	緊急避難場所兼避難所		河川監視ライブカメラ
	市役所など		
	消防署・出張所		防災重点農業用ため池ダム
	警察署・交番・駐在所		浸水実績 (2019年台風第19号)
	公共施設		新幹線
			鉄道
			高速道路
			国道
			主要地方道・県道
			水域
			地域境
			市境

### 土砂災害の危険凡例

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域 急傾斜地崩壊危険箇所 山腹崩壊危険地区</p>	<p>警戒区域 土石流危険渓流 崩壊土砂流出危険地区</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>
警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定	警戒区域 土砂災害警戒区域指定予定	土砂災害警戒区域



1: 15,000  
0 250 500 750m 1000m







## 地震で考えられる被害

**●建物倒壊・家具転倒**  
地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒によるものであり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めていました。



木造建物の被害の例

**●土砂崩れ**  
地震などの影響で、急なけ地や山の斜面が突然崩れ落ちてきます。



土砂崩れの被害の例

**●雪崩**  
積雪期に地震が発生すると、雪崩が発生する可能性があります。



雪崩の被害の例

**●ブロック塀の転倒・落下物**  
地震の揺れにより、ブロック塀や自動販売機が転倒したり、看板やガラス等が落下する危険があります。

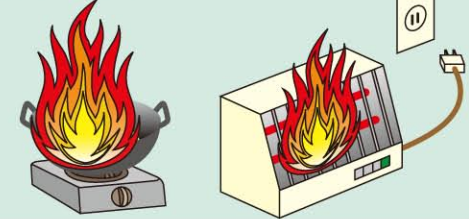


ブロック塀転倒の例



看板落下の例

**●火災**  
地震の揺れにより、暖房器具が転倒して火災が発生したり、停電からの電力復旧に伴い、電化製品が再稼働して可燃物に引火する通電火災が発生する事があります。



**●液状化現象**  
地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などでは、地震の激しい揺れにより、地盤が一時的に液体のようにやわらかくなる液状化現象が発生します。



液状化現象の被害の例

液状化により建物が傾いたり、地下の埋設管が損傷しライフラインが寸断したりします。

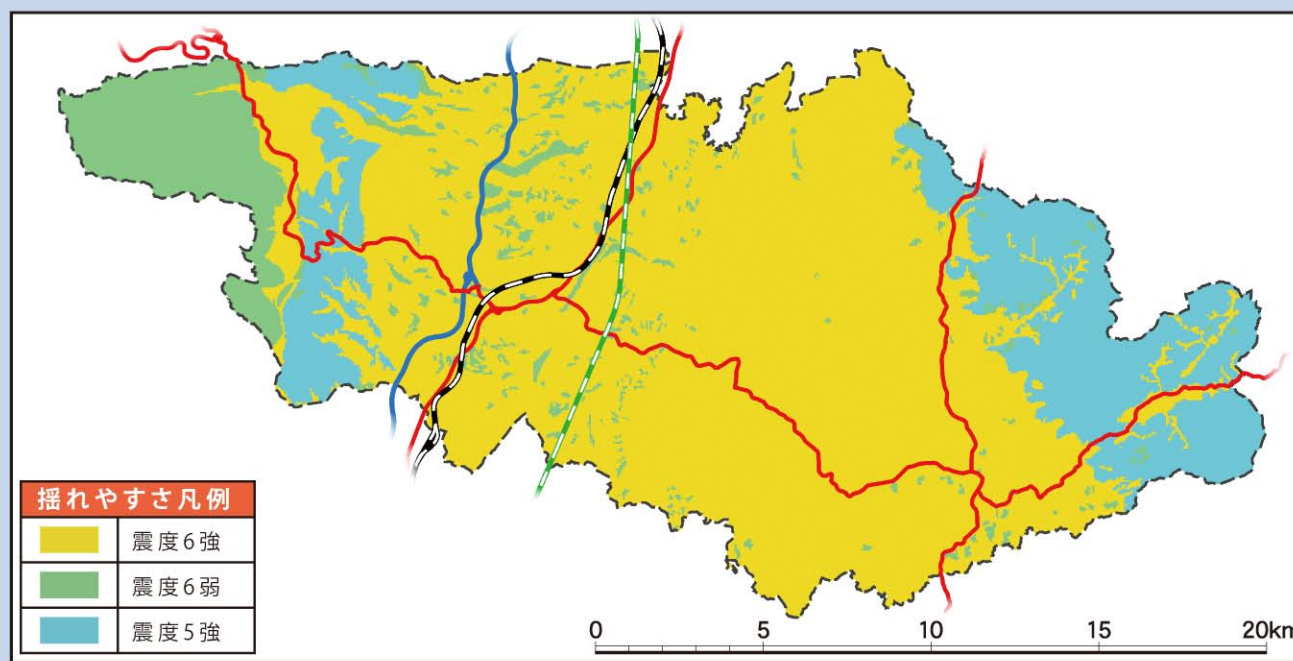
**●ライフライン被害**  
地震の揺れにより、水道管、ガス管、電線等が損傷し上下水道、ガス、電気などのライフラインが使えなくなります。



## 二本松市に影響を及ぼす地震(二本松市地震防災マップより)

### 揺れやすさマップ

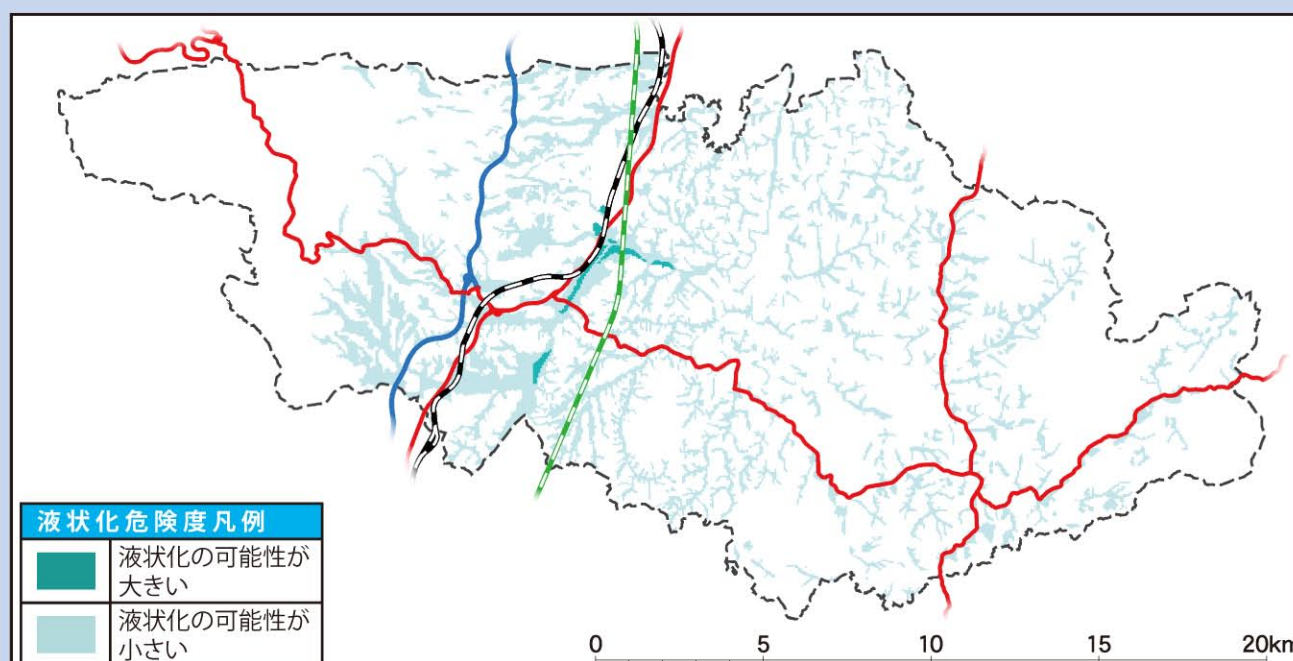
※市ウェブサイトを確認できます。



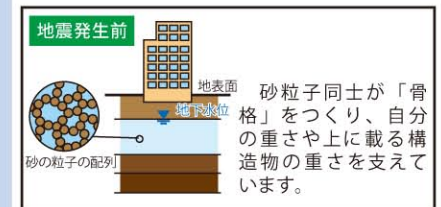
**●揺れやすさマップについて**  
このマップは、二本松市に大きな影響を与えることが予想される地震のうち、最も大きな震度が予想される、「内陸直下の地震\*」を想定して揺れの大きさを計算して作られています。  
【\*内陸直下の地震とは?】  
地球の表面をおおっている「プレート」という固い岩石の層のうち、海のプレートが陸のプレートを押すことで、海や陸のプレート内に様々な力がかかり、プレート内の弱い部分が破壊され地震が発生します。それが陸側の浅いプレート内で起こる地震が内陸直下の地震です。

各地点で考えられる最大の震度を表示しています。実際の地震ですべての地域がこの震度になることはありません。

### 液状化危険度マップ

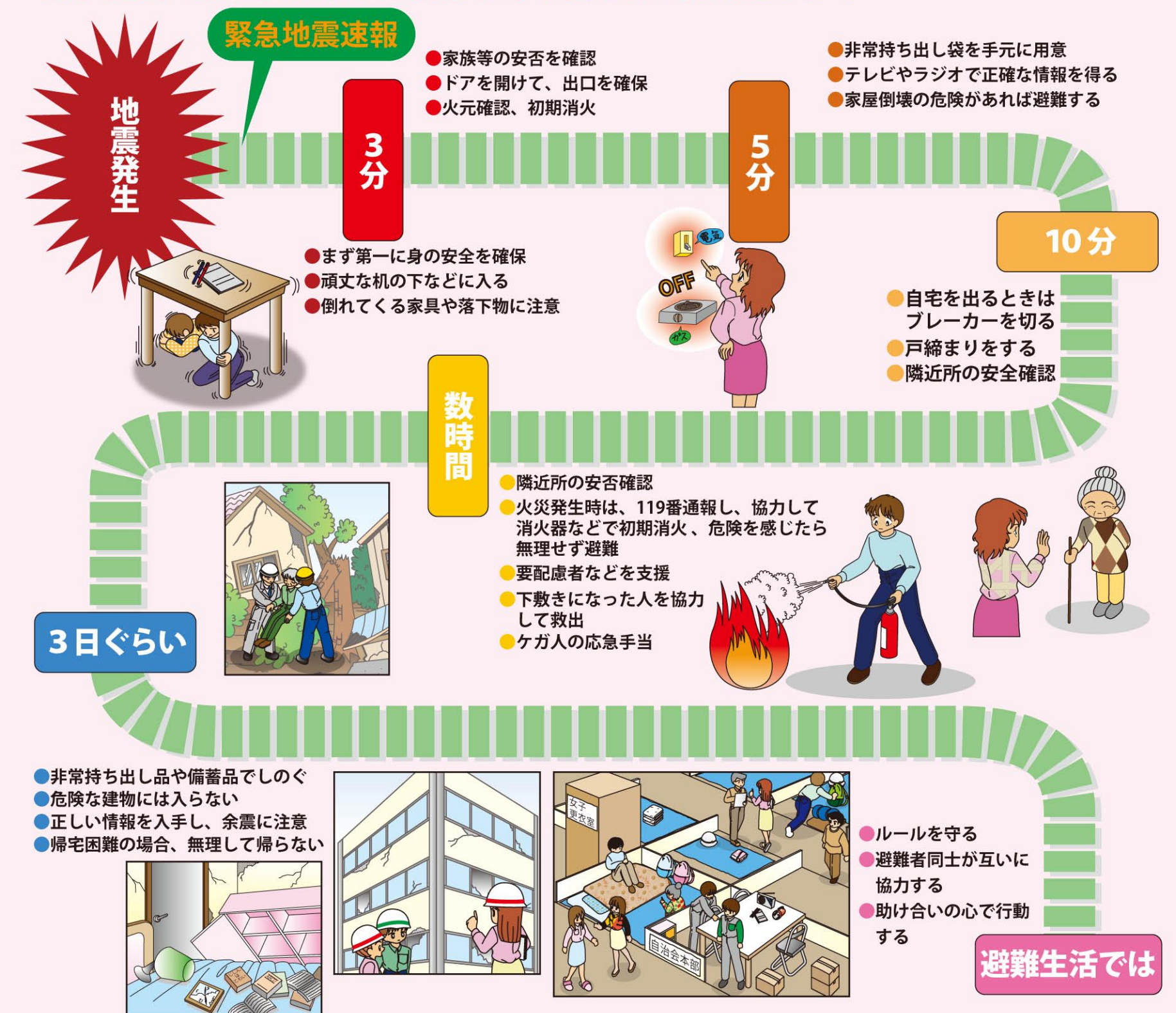


**●液状化とは**  
液状化とは、地震により砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになり、周辺が地下水で満たされた地盤が泥水となり、地盤の強度が弱まったり、地盤の沈下が発生する現象です。



## 地震発生時の行動

### まずは身の安全の確保! あわてずに冷静に行動しよう!



## 地震に備えて

### 我が家とその周辺の点検と対策

- 屋根**  
屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。
- 耐震診断・改修**  
専門家にチェックしてもらおう。
- 感震ブレーカー**  
電気を遮断してくれる。
- プロパンガス**  
ボンベを鎖で固定しておく。
- 窓ガラス**  
飛散防止フィルムを貼ったり、厚手のカーテンで割れた窓ガラスの飛散防止を行う。
- ベランダ**  
植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。
- ブロック塀**  
土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### 家具の配置のポイント

- つかえ棒で固定。
- 大型の家具や家電は、転倒防止器具で固定する。(固定方法は、固定器具の説明書をよく確認する。)
- ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。
- 固定ベルトなどで固定。
- 食器や本など、中のものが飛び出さないようロックをつける。
- 転倒防止シールなどで固定。
- 収納は重いものを下へ、軽いものを上に入れる。(家具転倒の軽減)



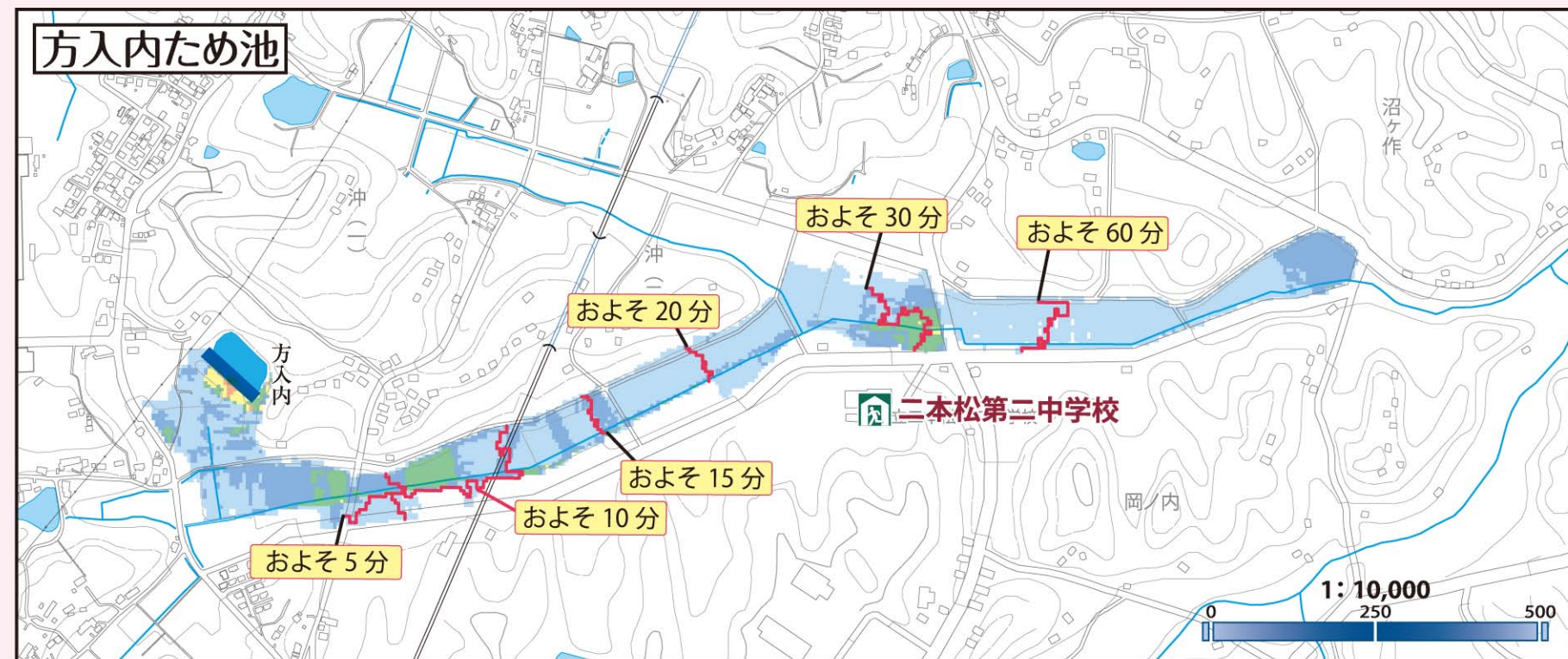
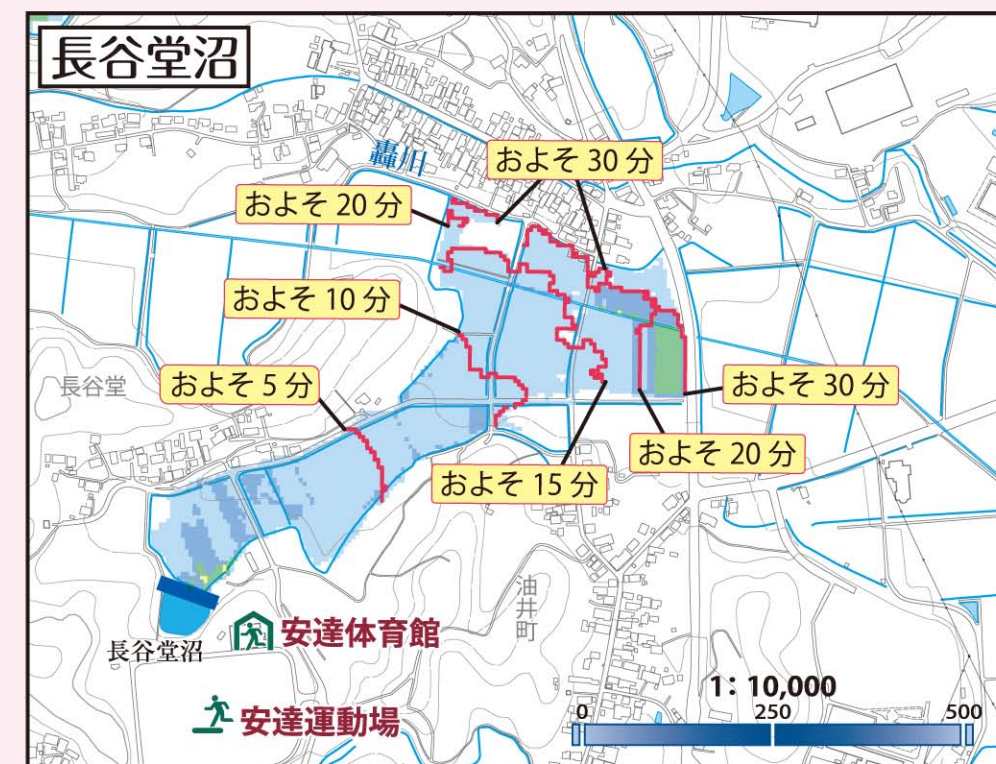
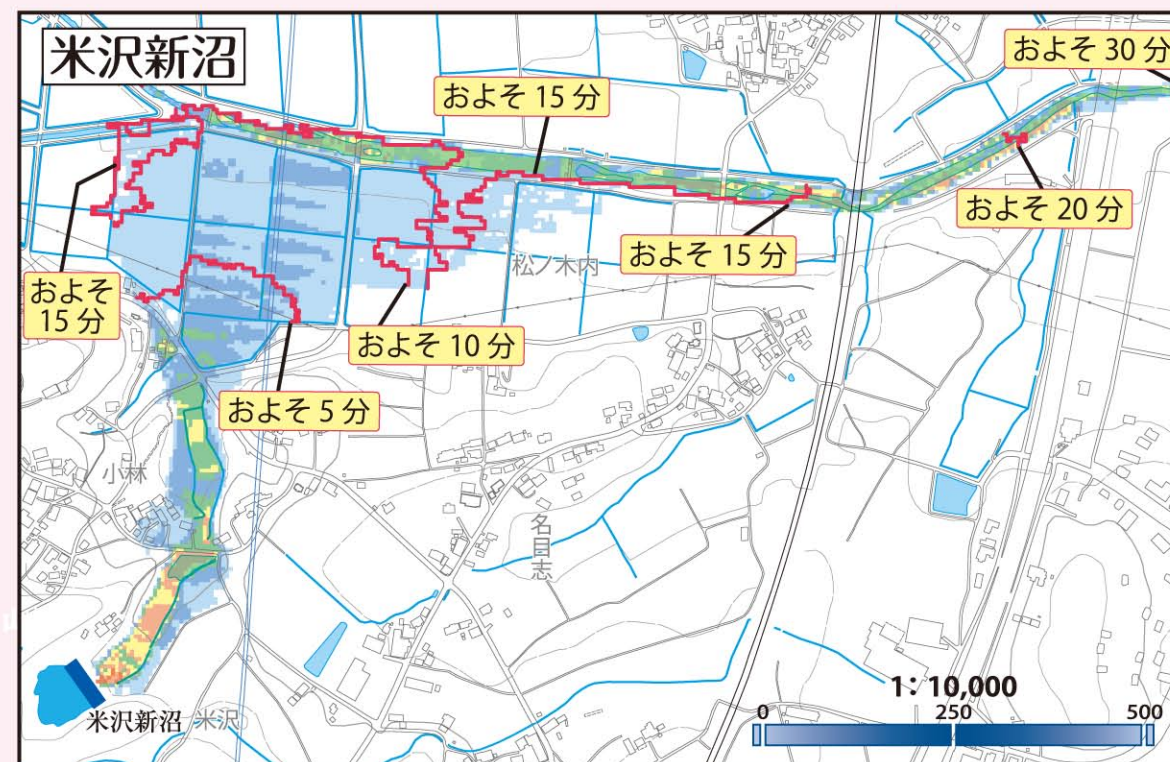
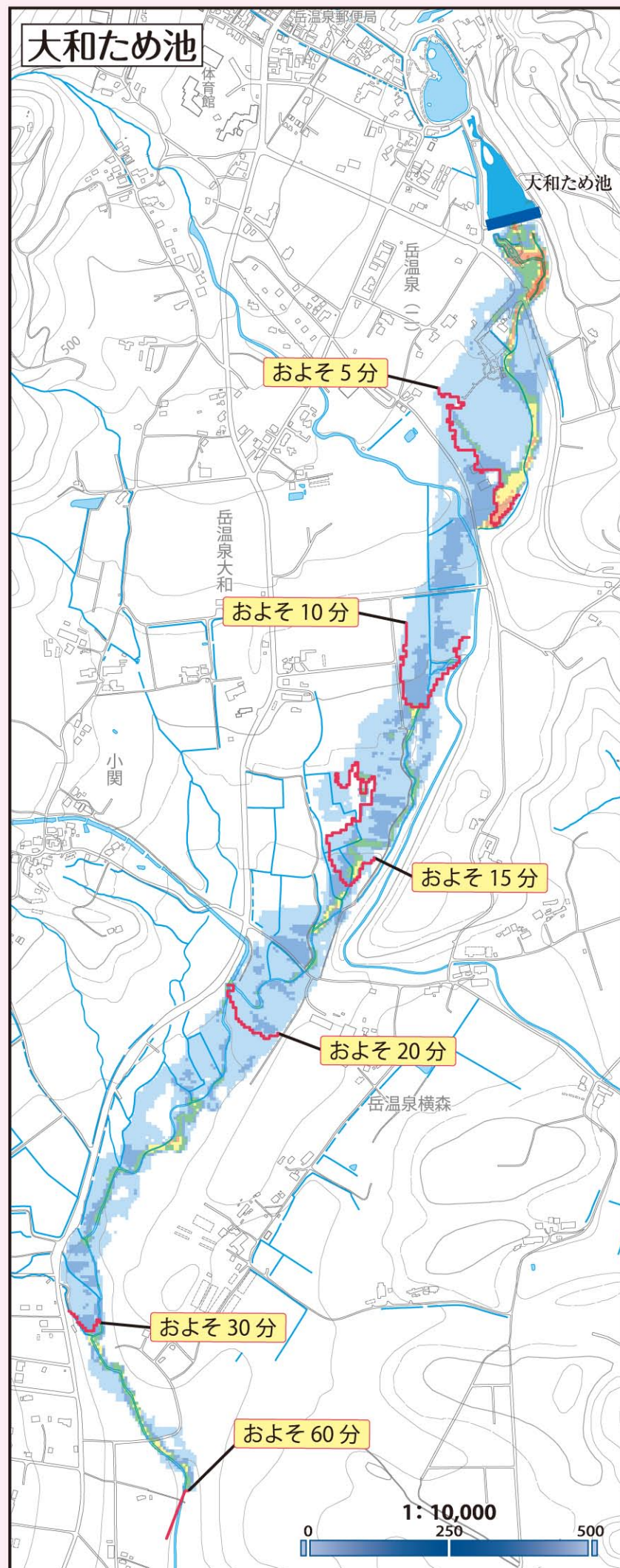
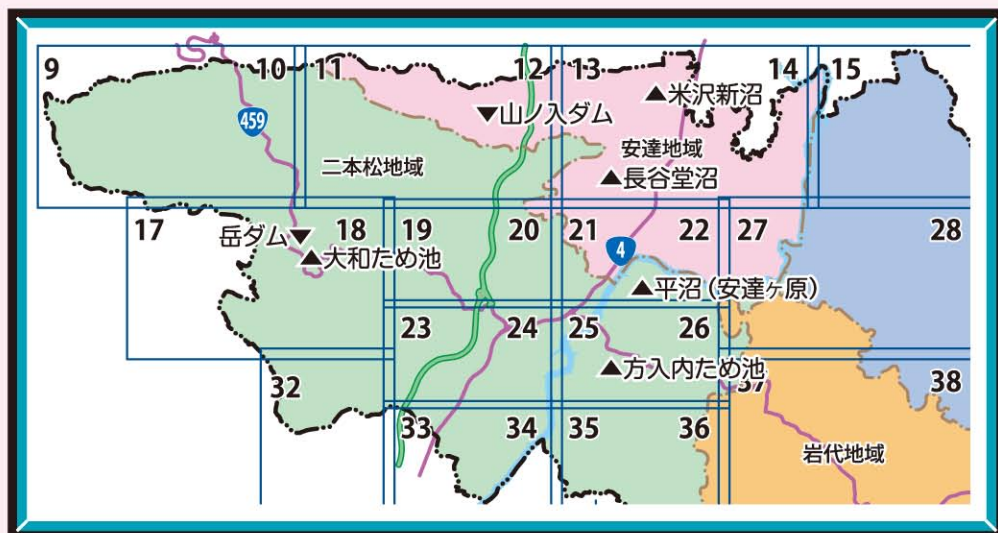


# 【地震災害編】ため池・ダムハザードマップ

ため池・ダムハザードマップは、人的被害を与えるおそれのあるため池（防災重点農業用ため池）やダムが、地震等の原因により決壊した場合に想定される、浸水区域・浸水深・氾濫流の到達時間等を示したものです。  
 ※二本松市内では、5つのため池が防災重点農業用ため池として位置付けられています。  
 ※ため池・ダムハザードは、市のウェブサイトでも確認できます。

## ●二本松市内の防災重点農業用ため池・ダム

## ため池ハザードマップ



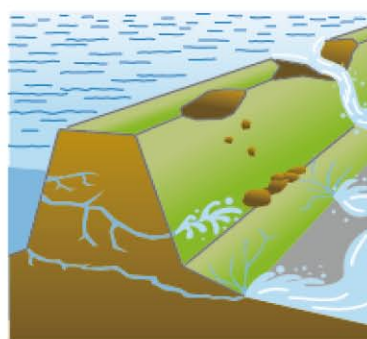
### 浸水深

0.5m未満の区域
0.5m～1.0m未満の区域
1.0m～1.5m未満の区域
1.5m～2.0m未満の区域
2.0m～3.0m未満の区域
3.0m以上の区域

ため池が決壊した場合、短時間に大量の水が押し寄せ、水の流が非常に強いので、一刻も早く近くの避難場所や高台に避難してください。

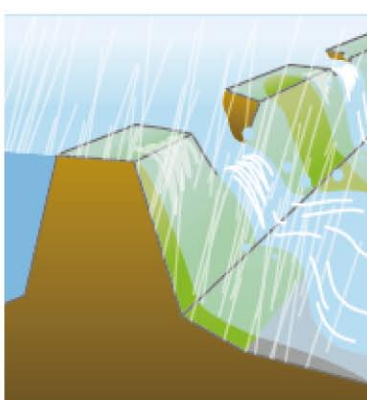
### ①ため池の決壊 〈こんなときは要注意〉

#### 大地震のとき



大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に至ることがあるので注意が必要です。

#### 大雨のとき



大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が侵食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、侵食・崩壊の危険性は、一層高くなります。

ため池の異常に気付いたら、  
すぐに緊急時連絡先へ通報してください!



### 連絡先

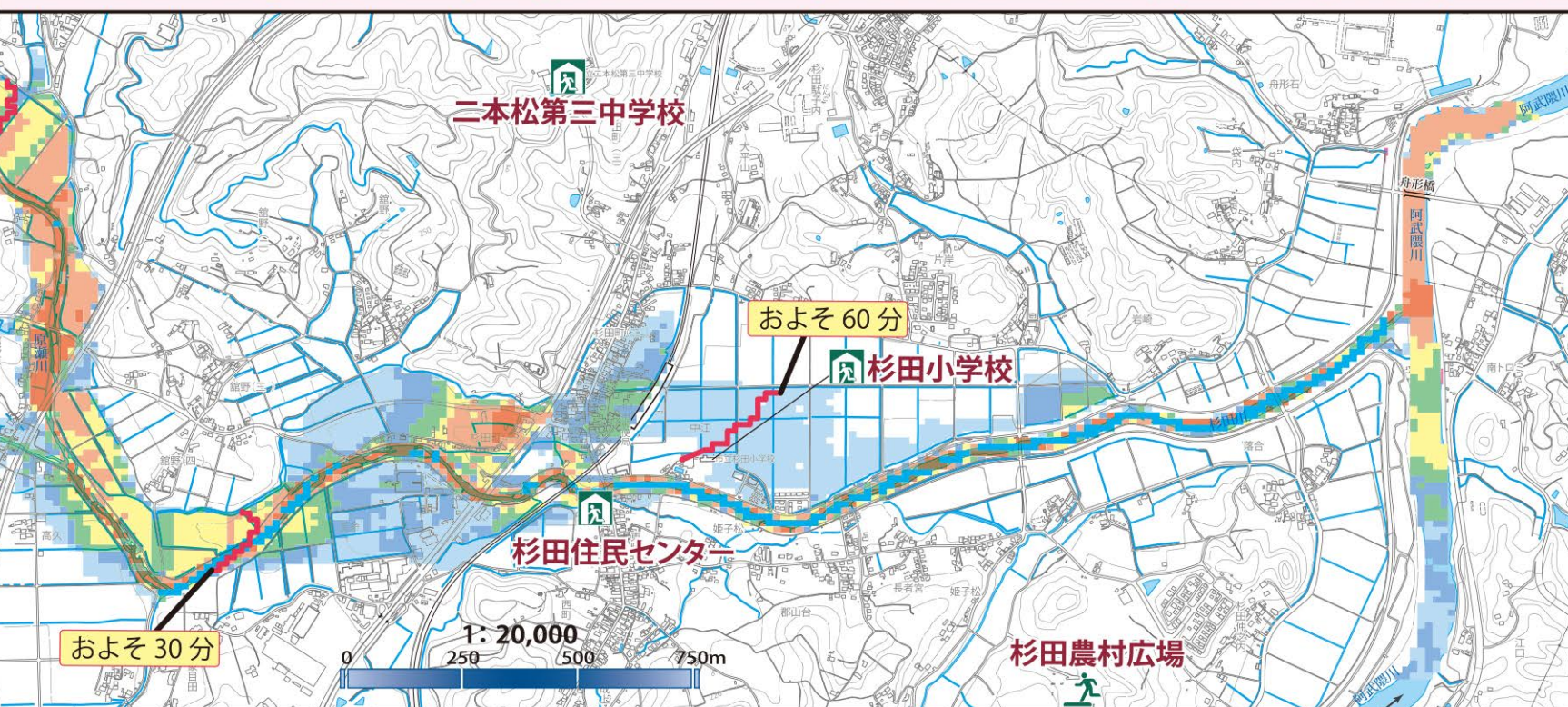
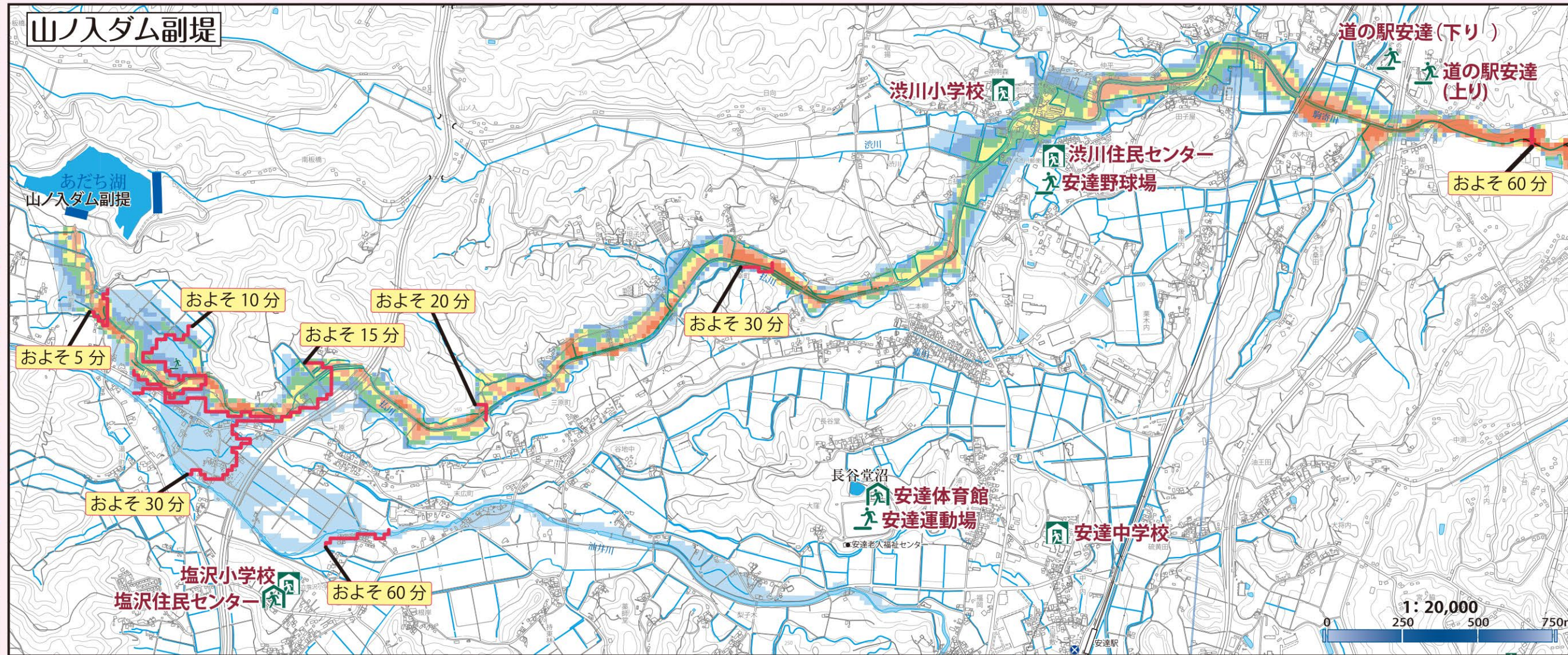
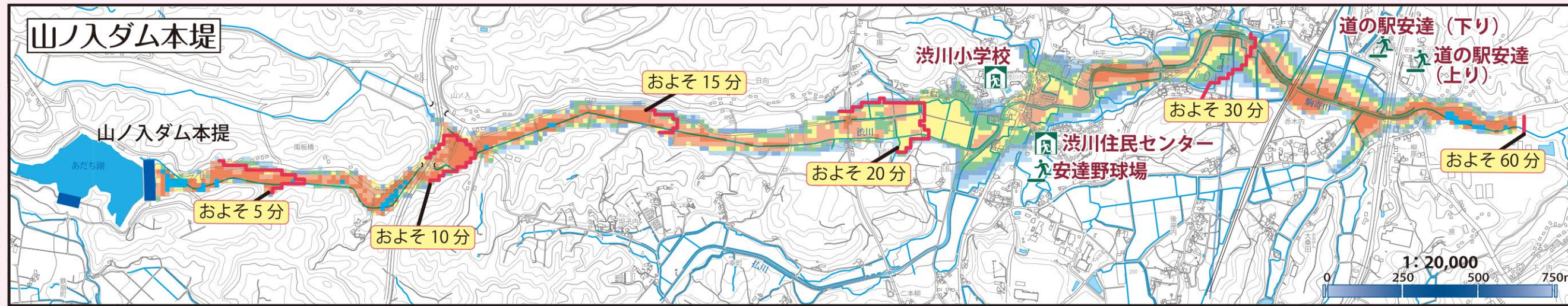
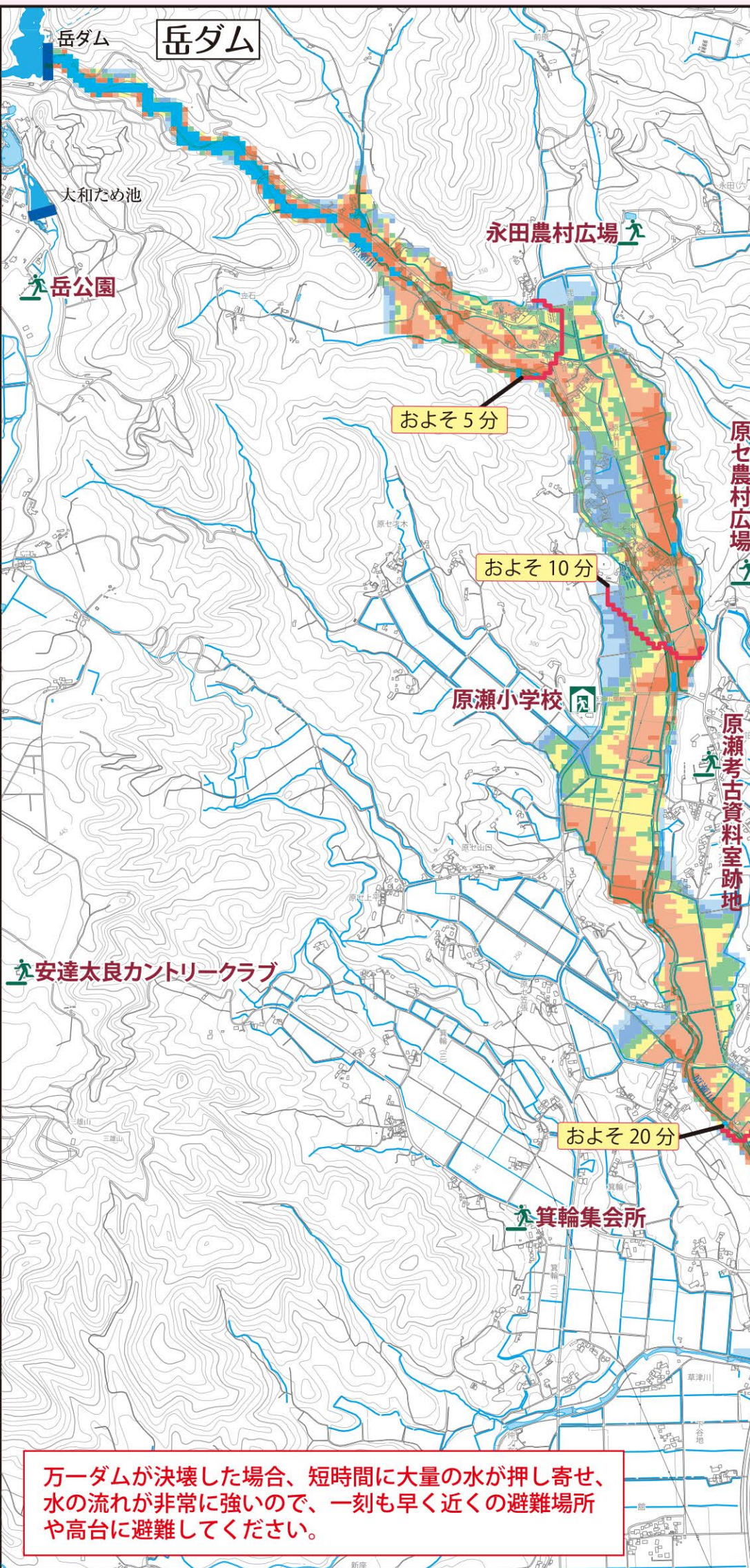
二本松市役所ため池担当課  
 (二本松市産業部農業振興課)  
 0243-24-5034 (直通)

ため池ハザードマップは、それぞれのため池が地震等の原因により、満水状態で決壊した場合に想定される浸水区域、浸水深、氾濫流の到達時間等を示したものです。実際のため池の水位の状況、気象状況、決壊の状況によって、このマップの浸水状況と異なることがあります。





## ダムハザードマップ



浸水深	
	0.5m未満の区域
	0.5m～1.0m未満の区域
	1.0m～1.5m未満の区域
	1.5m～2.0m未満の区域
	2.0m～3.0m未満の区域
	3.0m以上の区域

万一ダムが決壊した場合、短時間に大量の水が押し寄せ、水の流が非常に強いので、一刻も早く近くの避難場所や高台に避難してください。

ダムハザードマップは、それぞれのダムが地震等の原因により、満水状態で決壊した場合に想定される浸水区域、浸水深、氾濫流の到達時間を示したものです。実際のダムの水位の状況、気象状況、決壊の状況によって、このマップの浸水状況と異なることがあります。

※ため池・ダムハザードは、市のウェブサイトでも確認できます。

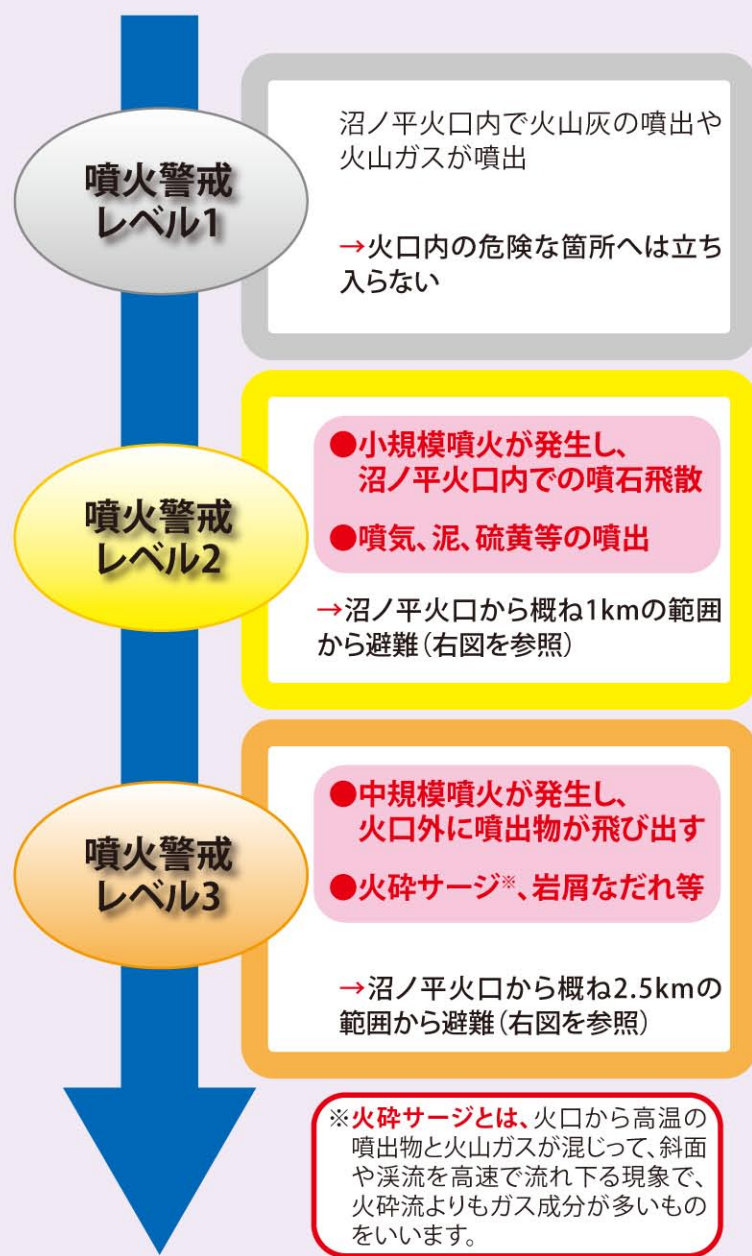




安達太良山は、しばしば噴気活動がみられ、過去に噴火を繰り返してきた活火山です。近年では、明治32年、33年に水蒸気噴火をし、周辺に火山灰を降らせました。

安達太良山では、県、市町村、気象台、地方整備局、自衛隊、警察、消防、観光団体、火山専門家などが参加した「安達太良山火山防災協議会」を設置し、関係者が連携して、住民、登山者、観光客の避難対策を検討しています。

## ■噴火警戒レベル1～3で考えられる噴火(火口周辺で被害が発生します)



この図は、沼ノ平火口で噴火した場合の噴火警戒レベル2(火口周辺規制)及びレベル3(入山規制)の規制範囲を示しています。

- レベル3(入山規制)火口中心から概ね2.5kmの範囲(登山道)
- レベル2(火口周辺規制)火口中心から概ね1kmの範囲(登山道)
- レベル1(活火山であることを留意)状況に応じ沼ノ平火口内の危険な箇所(沼ノ平火口の範囲)

## ■火山活動の状況と避難

火山の様子	過去の事例	噴火警戒レベル	市から出される避難情報	住民等の行動	
				要配慮者	住民
火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる。	1996年9月:白色噴気30m、沼ノ平中央部で泥の噴出、直径100mに飛散。 2000年2月:一時的に噴気300mまで上がる。	レベル1	活火山であることを留意	通常的生活	
火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生あるいは発生すると予想される。	1899年8月24日:噴火、沼ノ平火口で水蒸気爆発。直径40mの新火口生成。降灰東方数km。 1997年4月頃~:沼ノ平火口底の地中温度上昇。	レベル2	火口周辺規制	通常的生活	通常的生活
居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	1900年7月17日:噴火、沼ノ平火口内で水蒸気爆発。火口内硫黄精錬所が吹き飛ばされ72名死亡、10名負傷。	レベル3	入山規制	状況に応じて避難準備	

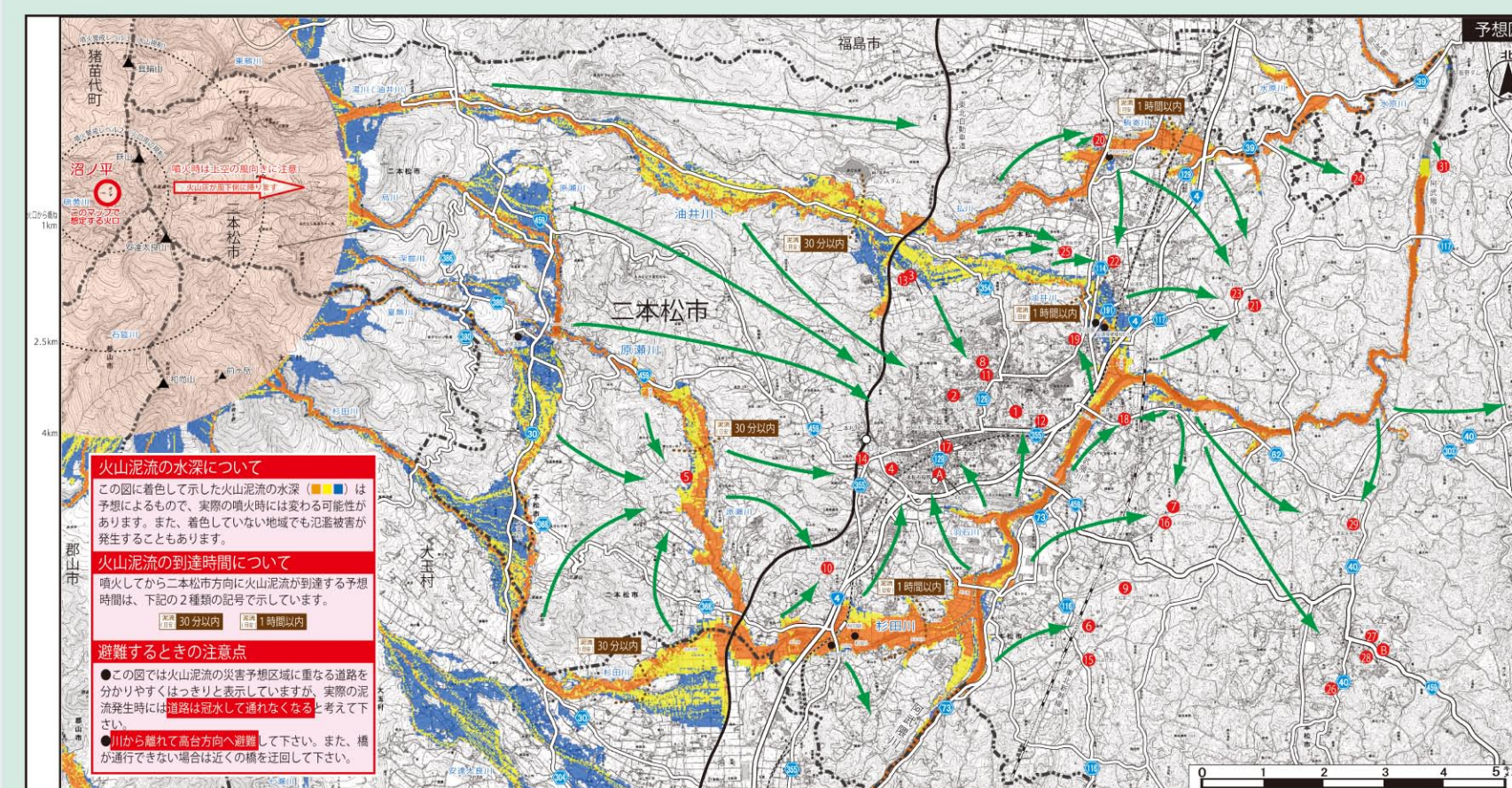


## ■噴火警戒レベル4以上で考えられる噴火(居住地域まで被害が及びます)

### 融雪型火山泥流の危険区域 一積雪期の噴火一

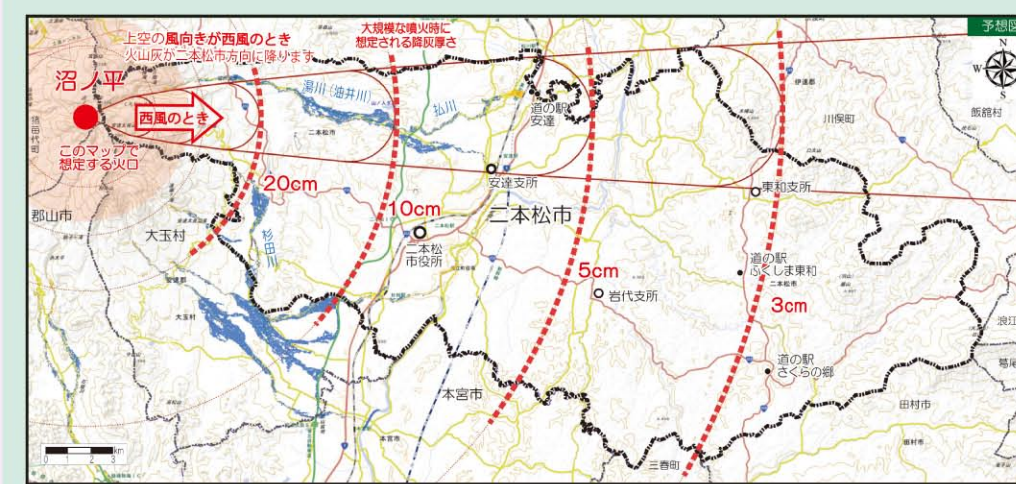
2016年改訂版「安達太良山火山防災マップ」より

山に雪があるときに噴火が起きると、噴出物の熱で火口周囲の雪が一気に融けて、火山泥流が発生しやすくなります。



### 火山灰の降灰エリア・降灰後の土石流 一大規模な噴火の時に想定される降灰一

沼ノ平火口の上空の風向きが西風のときに、火山灰が二本松市方向に降ります。山の斜面に火山灰が積もると、その後の雨で土石流が発生しやすくなります。



### 火山防災マップで確認してね!

二本松市では、「安達太良山火山防災マップ」を配布しています。安達太良山で発生が予想される噴火現象とその被害や、その他の現象の詳細については、「安達太良山火山防災マップ」をご確認ください。 ※市ウェブサイトでも確認できます。

## ■火山活動の状況と避難



想定される現象	噴火警戒レベル	市から出される避難情報	住民等の行動	
			要配慮者	住民
噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、居住地域まで到達すると予想される。	レベル4	高齢者等避難	避難開始	警戒が必要な居住地域での避難の準備
噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいはそのような噴火が切迫している。	レベル5	避難指示		危険な居住地域からの避難等